

デロイト「2013年グローバルモバイル消費者調査」レポート(抜粋)

デロイト トーマツ コンサルティング株式会社
2013年11月

目次

概要 2

全体傾向 7

デバイスについて 9

コネクタビリティについて 17

通信キャリアについて 22

コンテンツ・アプリ・広告について 29

回答者属性 37

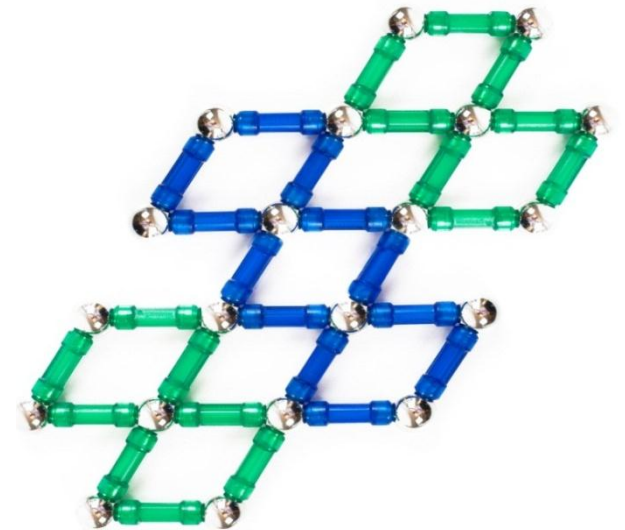
アンケート項目一覧 38

概要

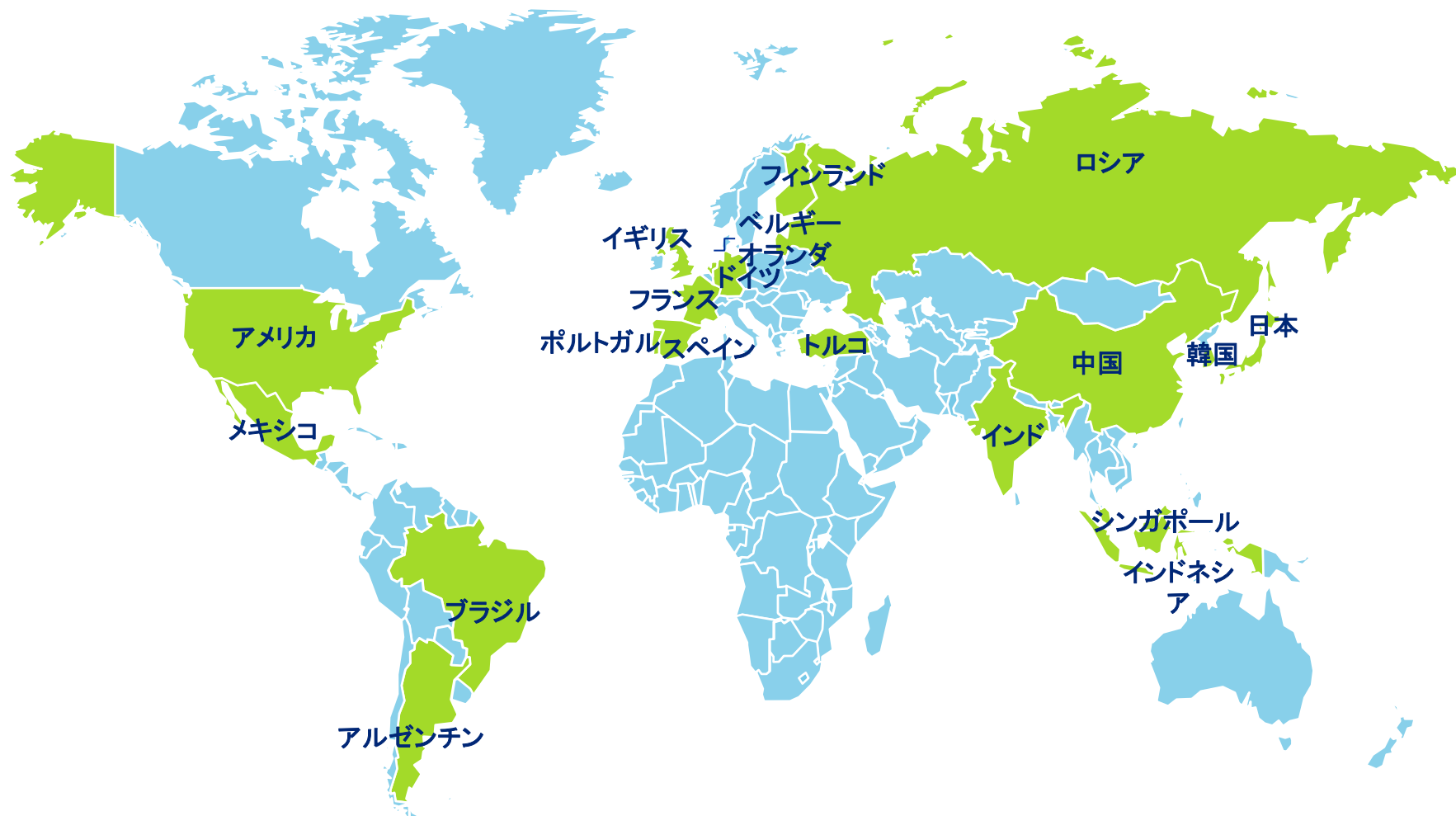
デロイト「2013年グローバルモバイル消費者調査」とは

調査概要

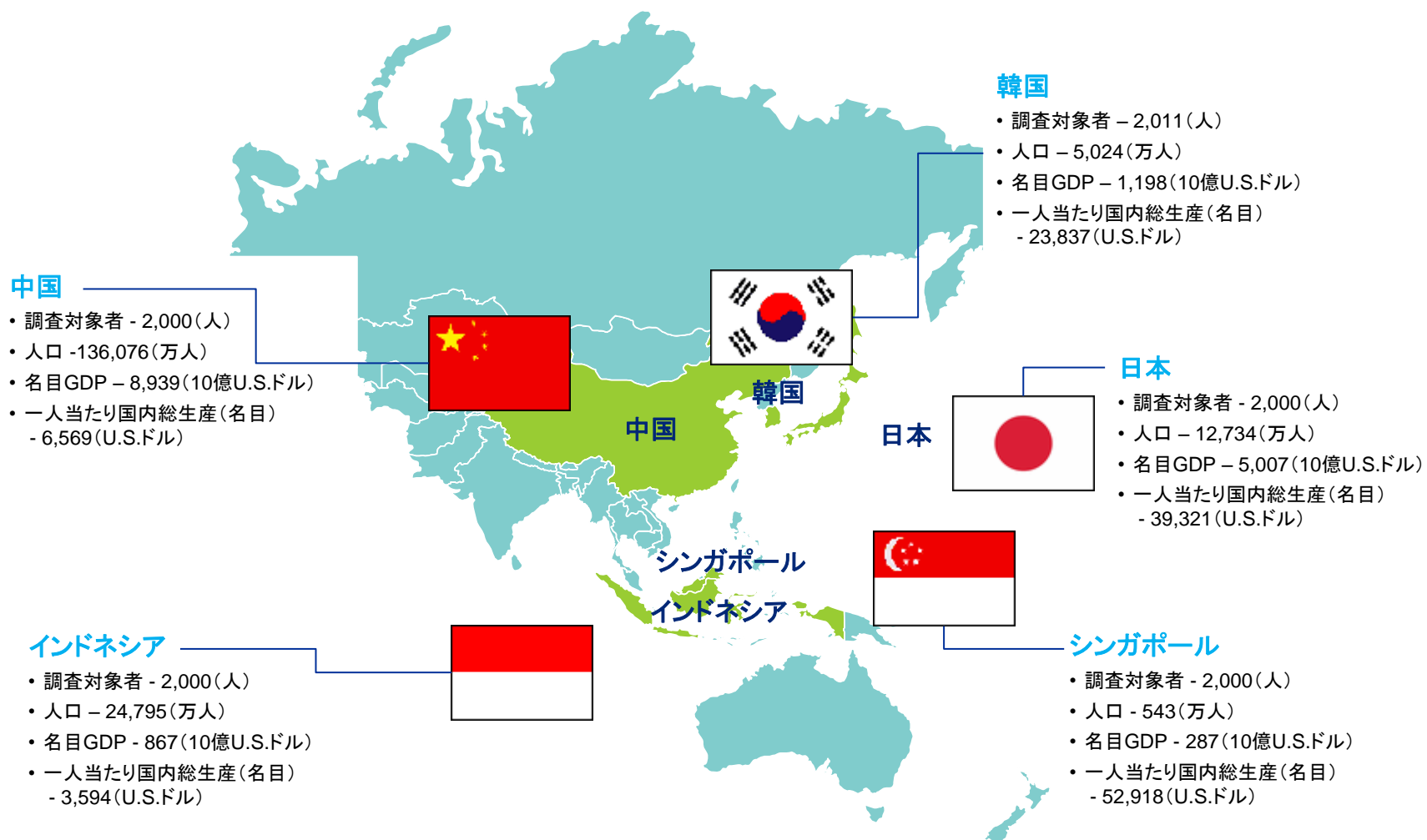
- デロイト「2013年グローバルモバイル消費者調査」は、世界各国のモバイル利用実態を把握するために、デロイトのテクノロジー・メディア・テレコムインダストリープラクティスによって実施された、グローバル調査である
- 本調査はオンラインアンケートの形式実施され、独立した調査会社により2013年5月から7月の期間で実施され、集計された
- 調査対象国は全20ヶ国、調査対象人数は38,650人(対象国は次ページ参照)
- 本レポートは、調査結果の一部を紹介しながら、アジアを中心とした各国比較における日本のモバイルデバイスの浸透度、消費者のモバイルに対する指向性を分析しており、日本のデロイト トーマツ コンサルティングのテクノロジー・メディア・テレコム・エレクトロニクスインダストリープラクティスによって作成された
- 分析されたデータは自己申告による調査であるため、人的要因(human element)や地域ごとの文化的差異が調査結果に影響されている点に留意されたい



20ヶ国で計38,650人を対象に、調査を実施した



本レポートでは主にアジア5カ国の結果を紹介している



出所: IMF "World Economic Outlook" 記載された数値は2013年10月時点の数値

全体傾向

モバイル消費者調査 全体傾向

世界およびアジア全体から見ると、日本市場のスマートモバイル(スマートフォン・タブレット)利用度はまだ低水準であるため、日本市場は今後も拡大していく可能性が高い

デバイス



- 日本のスマートフォン保有率は33%、タブレット保有率は12%
- アジア調査対象国のスマートフォン保有率は、シンガポールの86%を筆頭に、韓国85%、中国82%、インドネシア77%と、日本よりもかなり高い
- タブレットもスマートフォンと同様の傾向

コネクタビリティ



- 最もよく利用している接続方法としてWi-Fiを利用している割合は、日本ではスマートフォン51%、タブレットでは75%
- アジア調査対象国の中で、Wi-Fi利用率が最も高いのは韓国(スマートフォン62%、タブレット85%)、最も低いのはインドネシア(スマートフォン32%、タブレット63%)

通信キャリア



- 日本における通信キャリア選定理由は「友達・家族割」が最も多く30%
- 日本と同様「友達・家族割」が主なキャリア選定理由なのは韓国(24%)、中国は音声通話ネットワークのよさ(34%)、インドネシアはデータ通信のネットワークのよさ(51%)、シンガポールは他サービスとのバンドル利用(22%)が決め手となっている

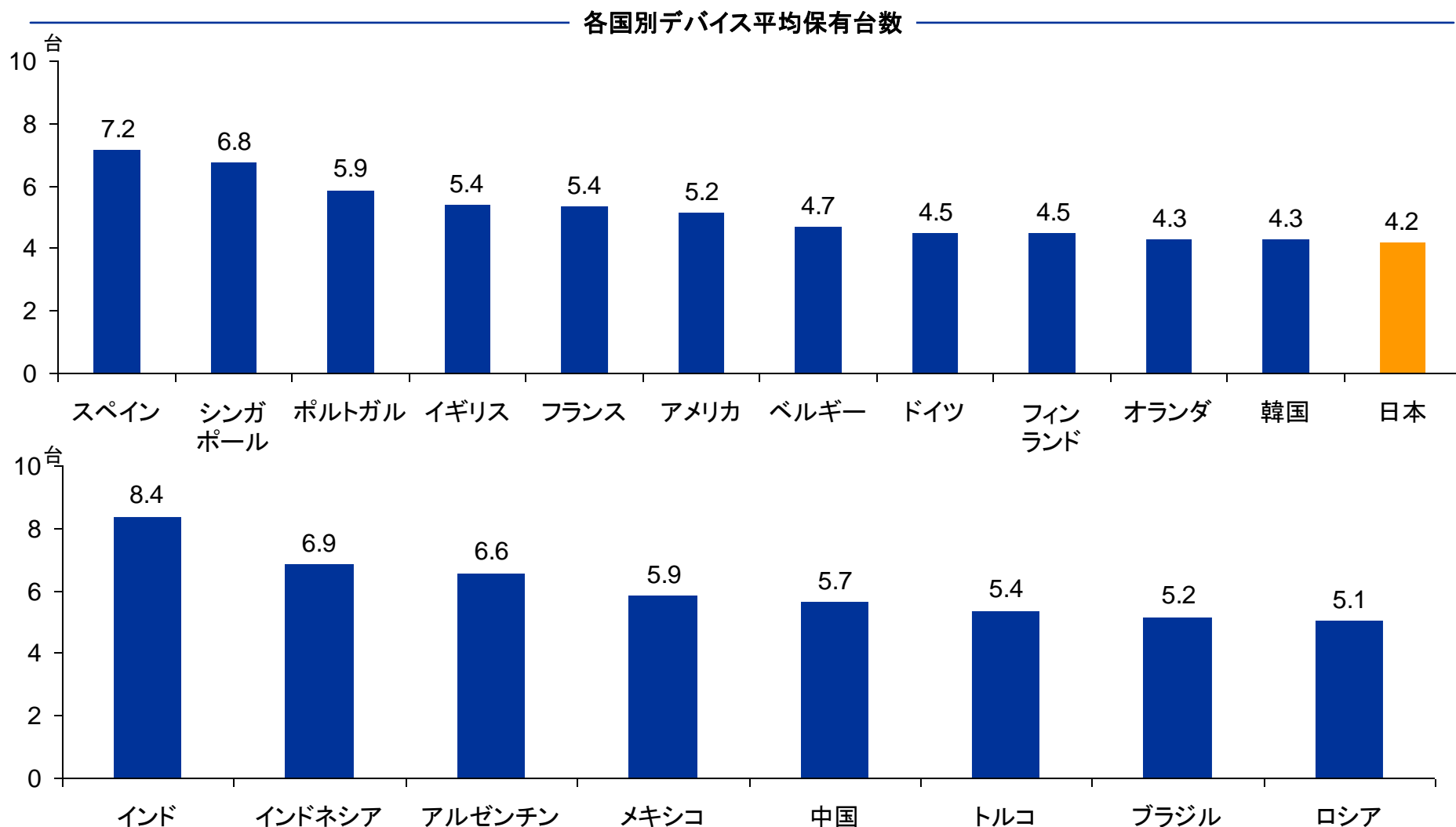
コンテンツ・アプリ



- 日本の月あたりスマートフォン平均アプリダウンロード数は3.12個、ユーザの63%は課金なし(無料アプリ)ユーザ
- アジア調査対象国の中で最も有料アプリを利用しているのはインドネシアで、31%のスマートフォンユーザが毎月5ドル以上課金している

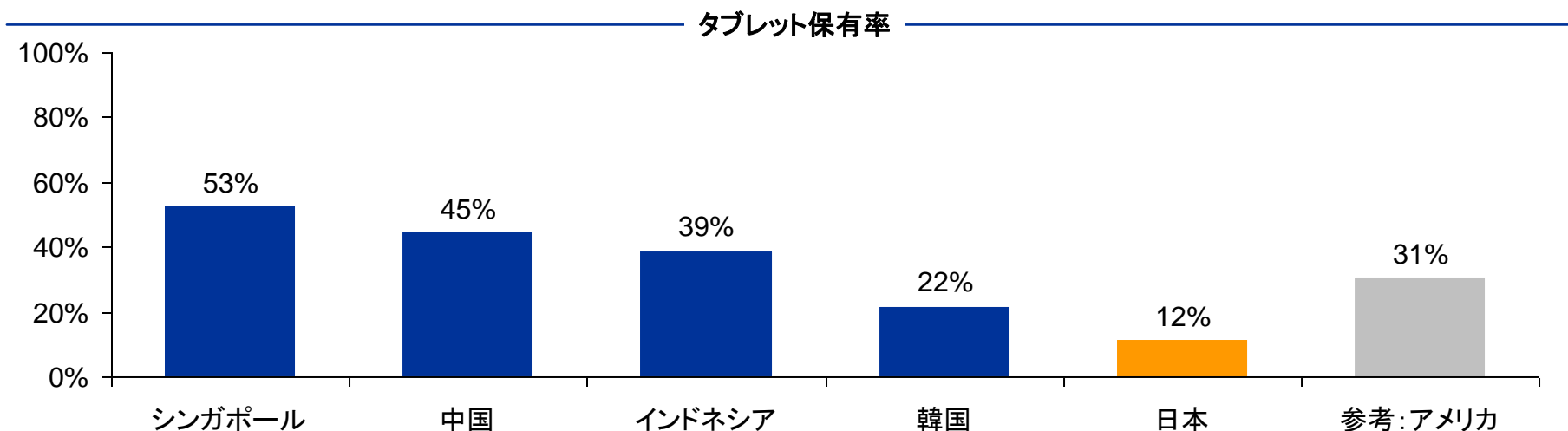
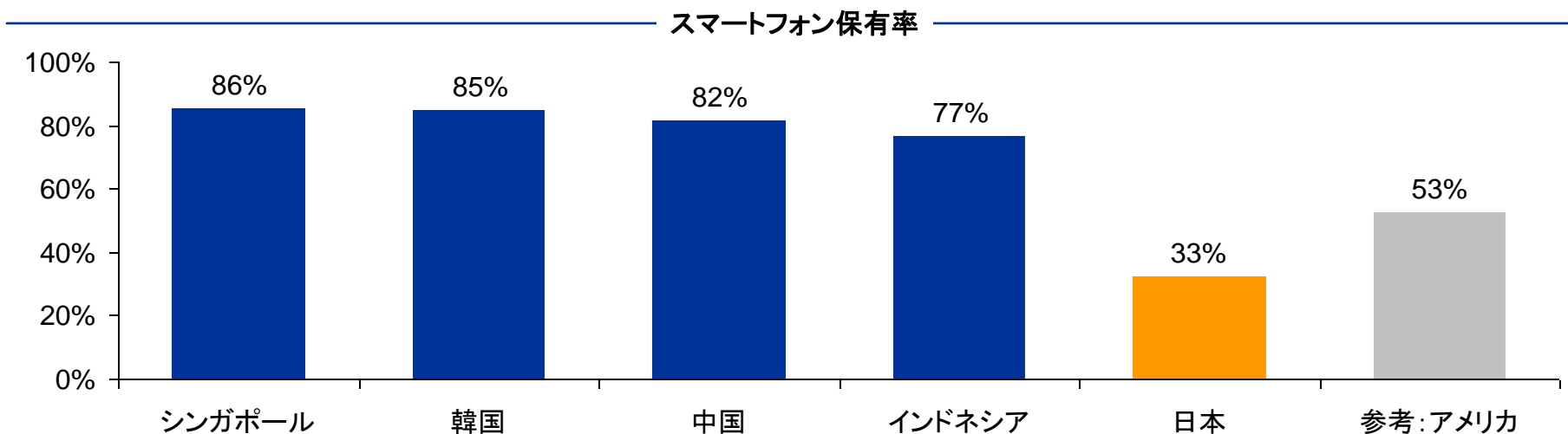
デバイスについて

デバイス平均保有台数



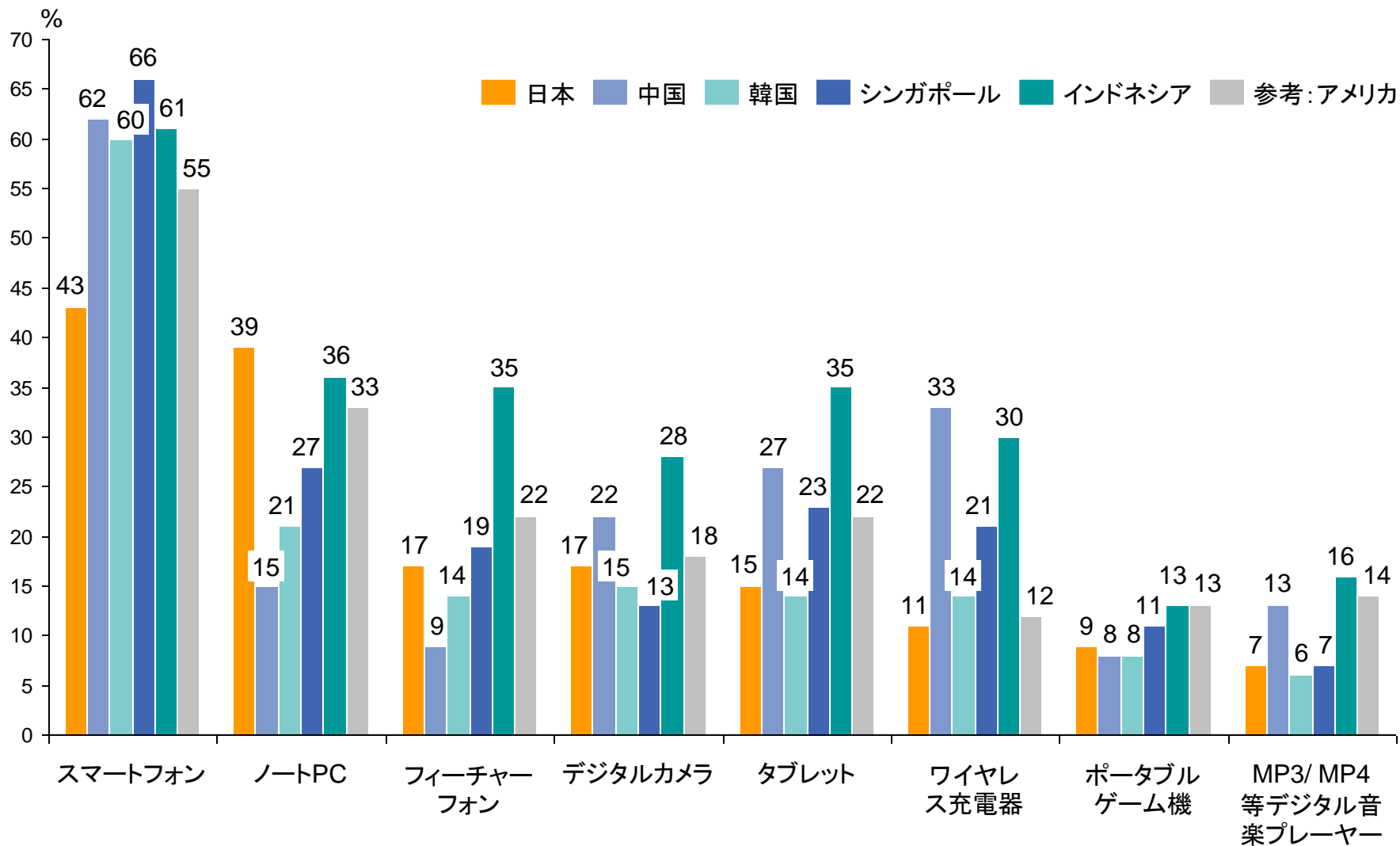
対象デバイス: フィーチャーフォン、スマートフォン、タブレット、ノートPC、ネットブック、電子書籍リーダー、ポータブルゲームプレーヤー、コンパクトカメラまたはデジタル一眼レフカメラ、デジタル音楽プレーヤー、ポータブルDVDプレーヤーまたはブルーレイ、スマートウォッチ

スマートフォン・タブレット保有状況



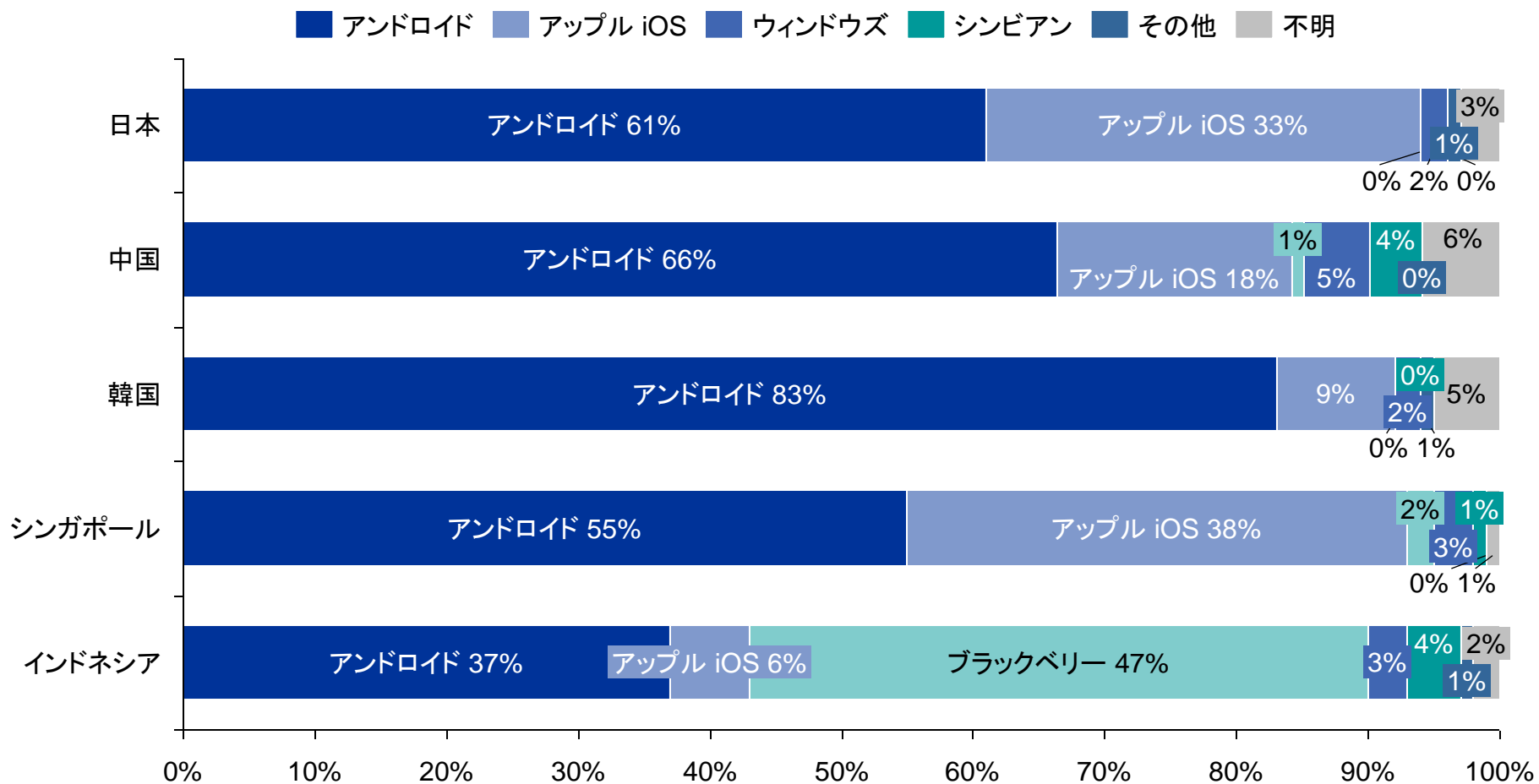
デバイス購入意向

12ヶ月以内に購入したいデバイス



スマートフォンOS種別

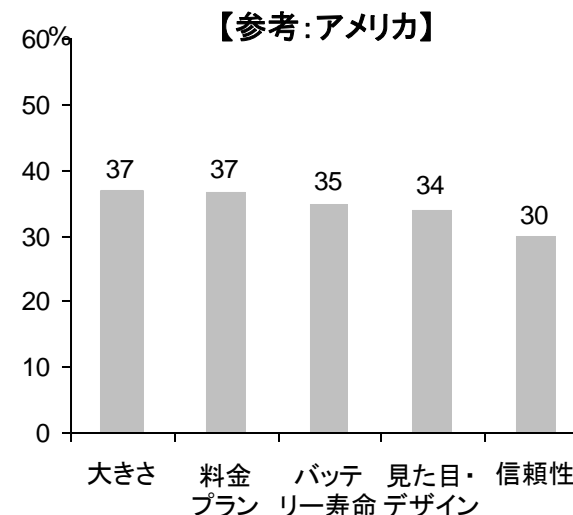
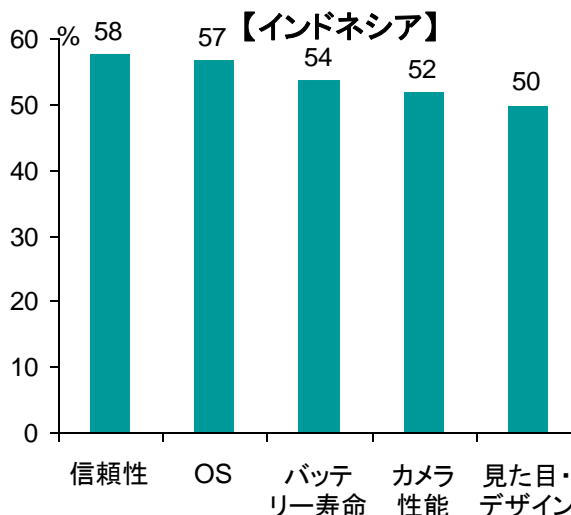
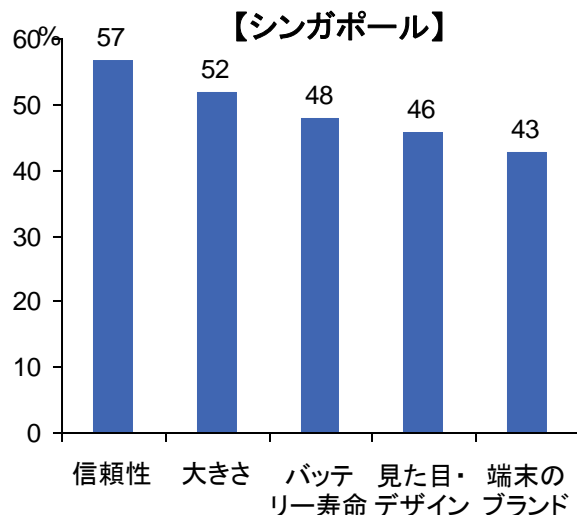
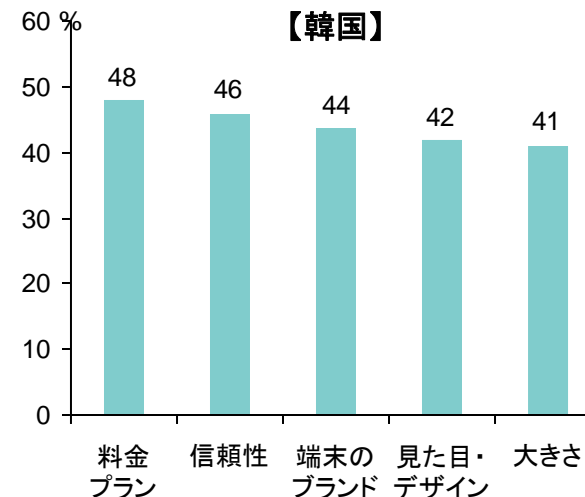
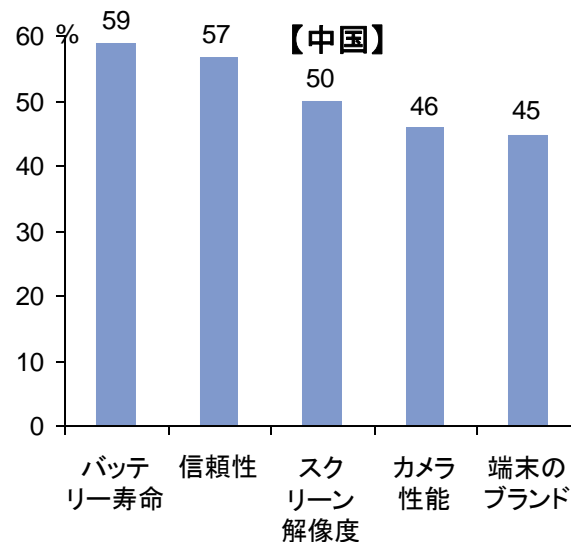
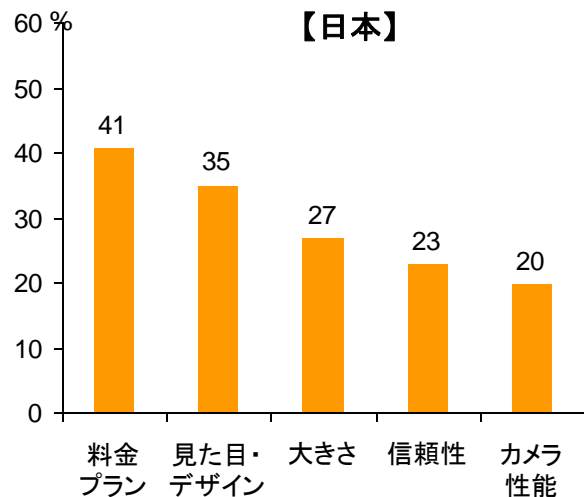
利用しているスマートフォンOS種別



アメリカでは該当質問なし

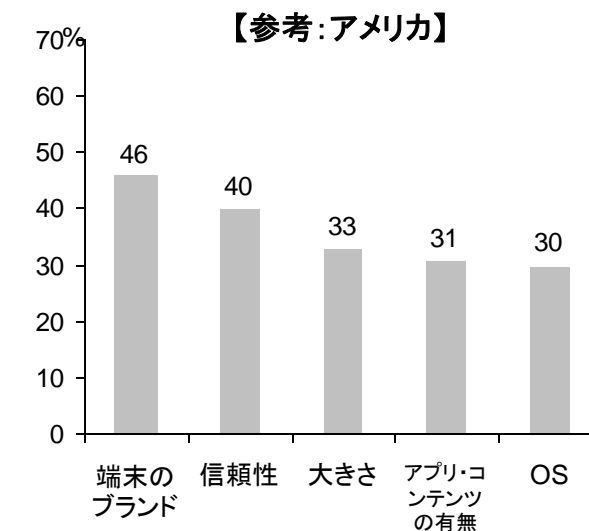
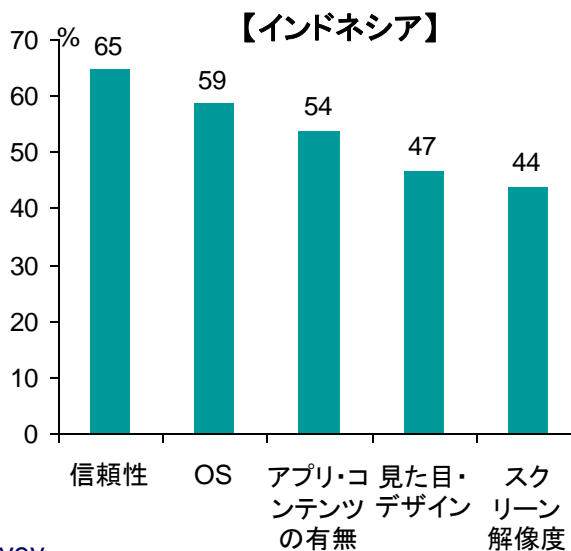
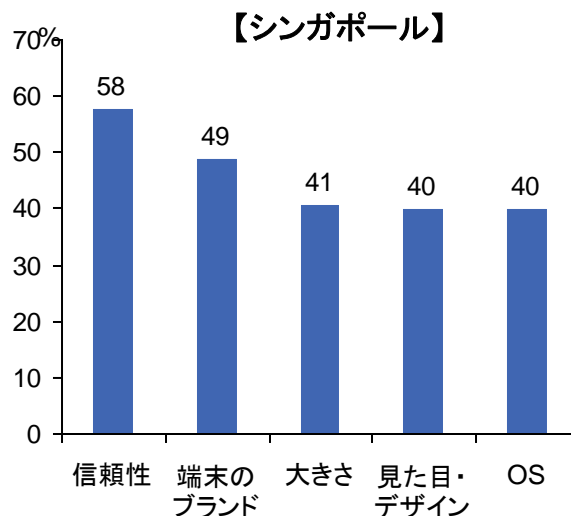
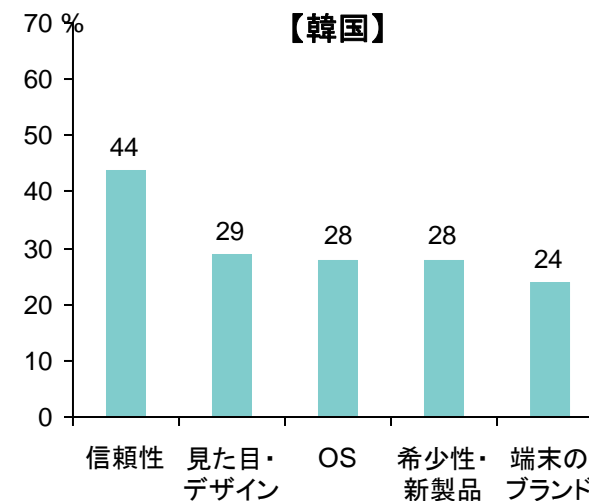
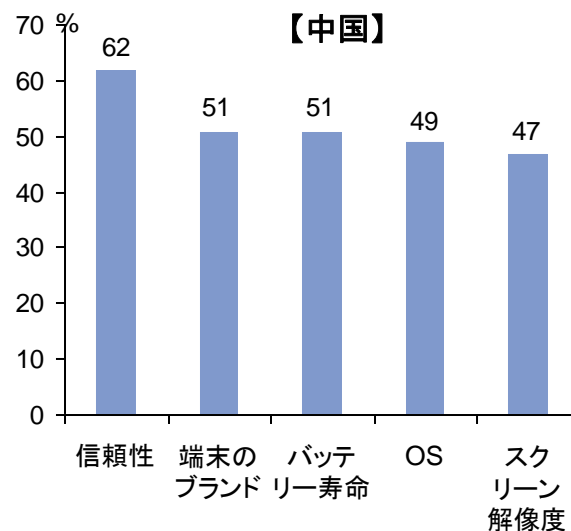
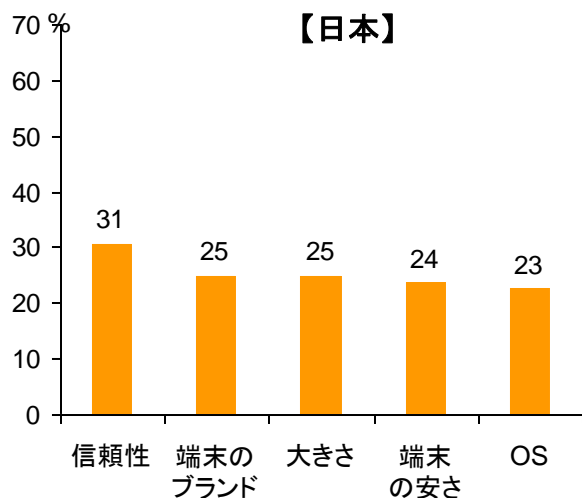
スマートフォン選定ポイント

現在利用中のスマートフォンを選ぶ際に最も重視した点(上位5位)



タブレット選定ポイント

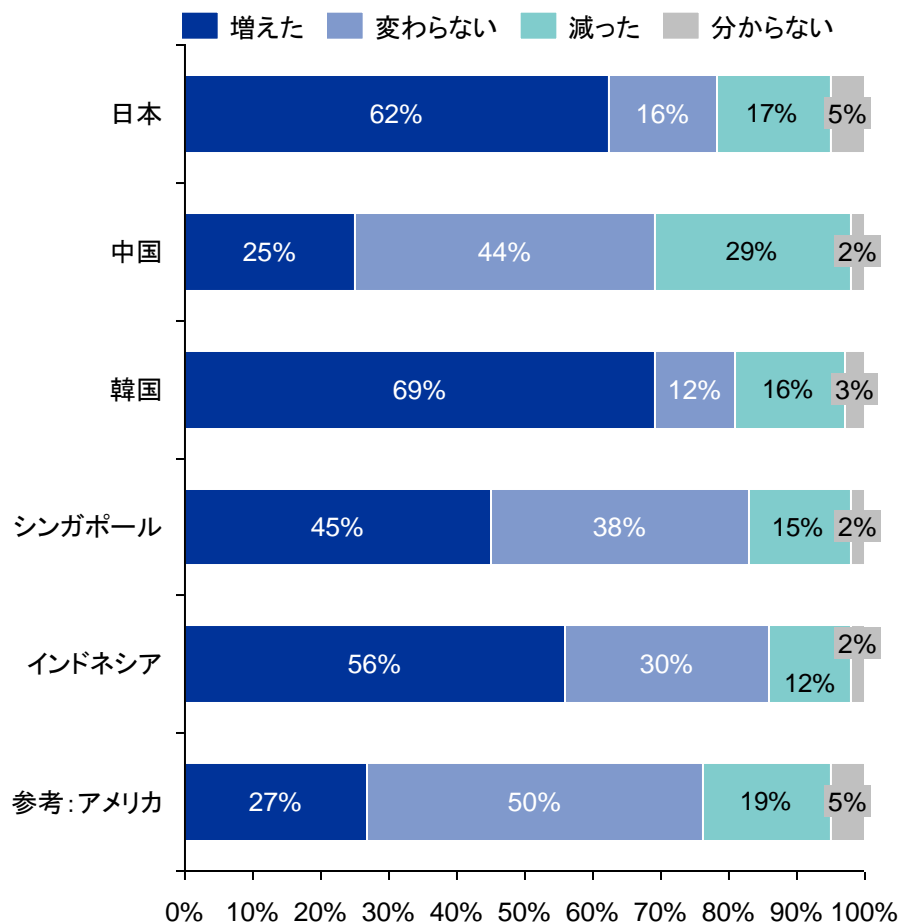
現在利用中のタブレットを選ぶ際に最も重視した点(上位5位)



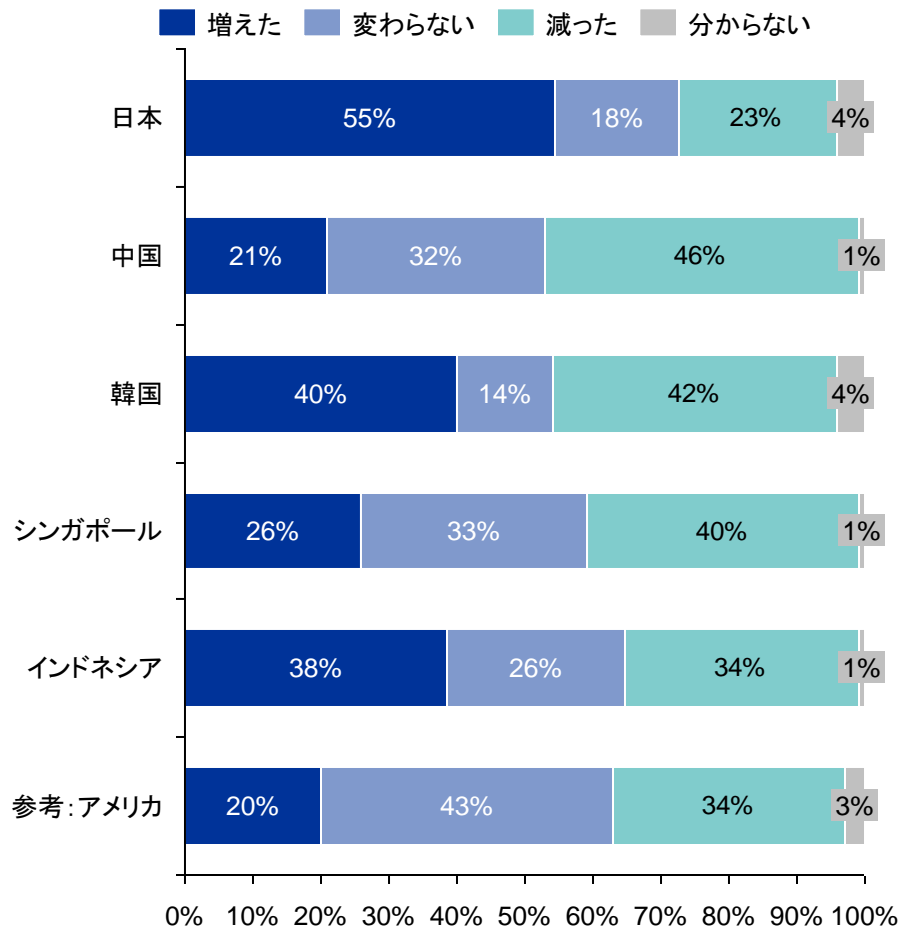
他デバイス利用状況変化

タブレットを保有したことによる他デバイス利用状況の変化

【スマートフォンの利用状況変化】



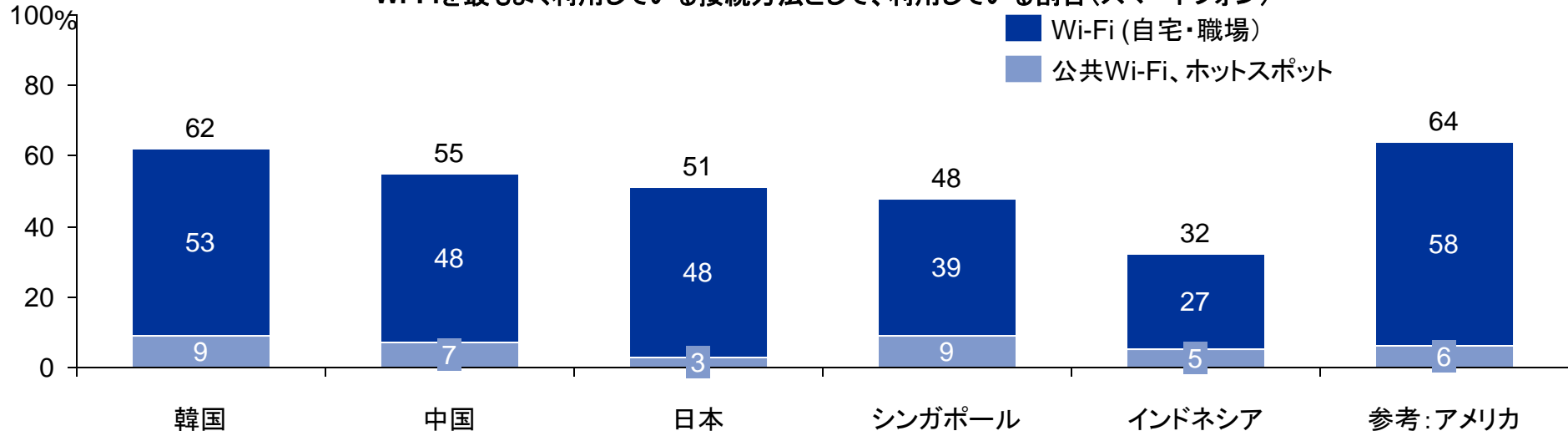
【ノートPCの利用状況変化】



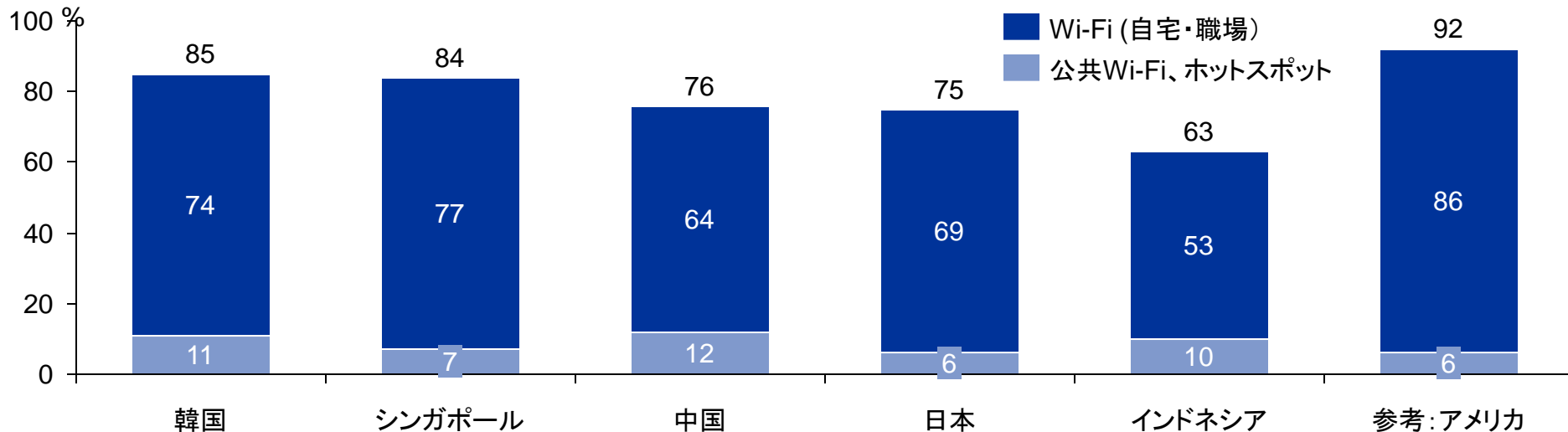
————— コネクタビリティについて —————

Wi-Fi利用状況

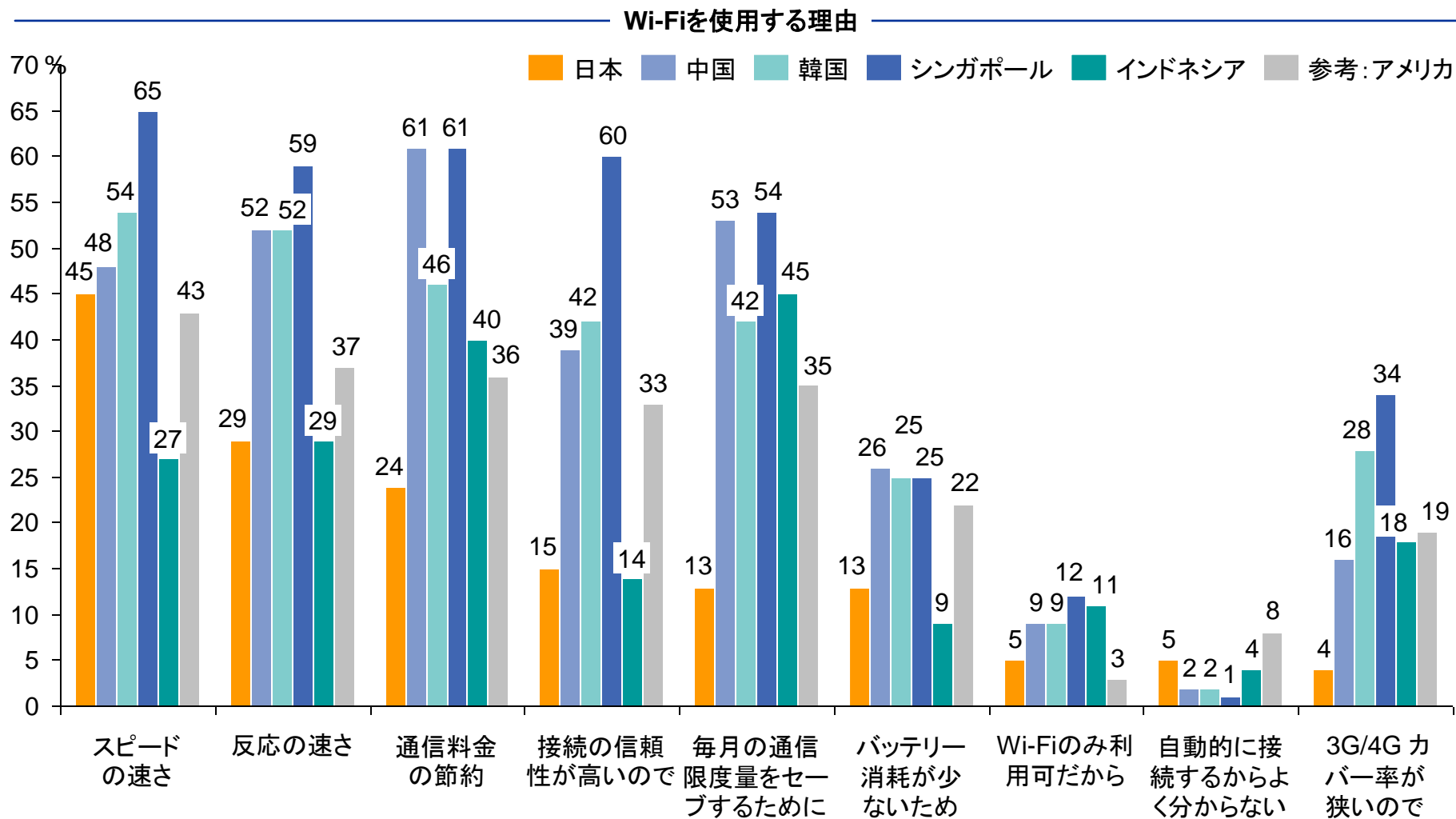
Wi-Fiを最もよく利用している接続方法として、利用している割合(スマートフォン)



Wi-Fiを最もよく利用している接続方法として、利用している割合(タブレット)

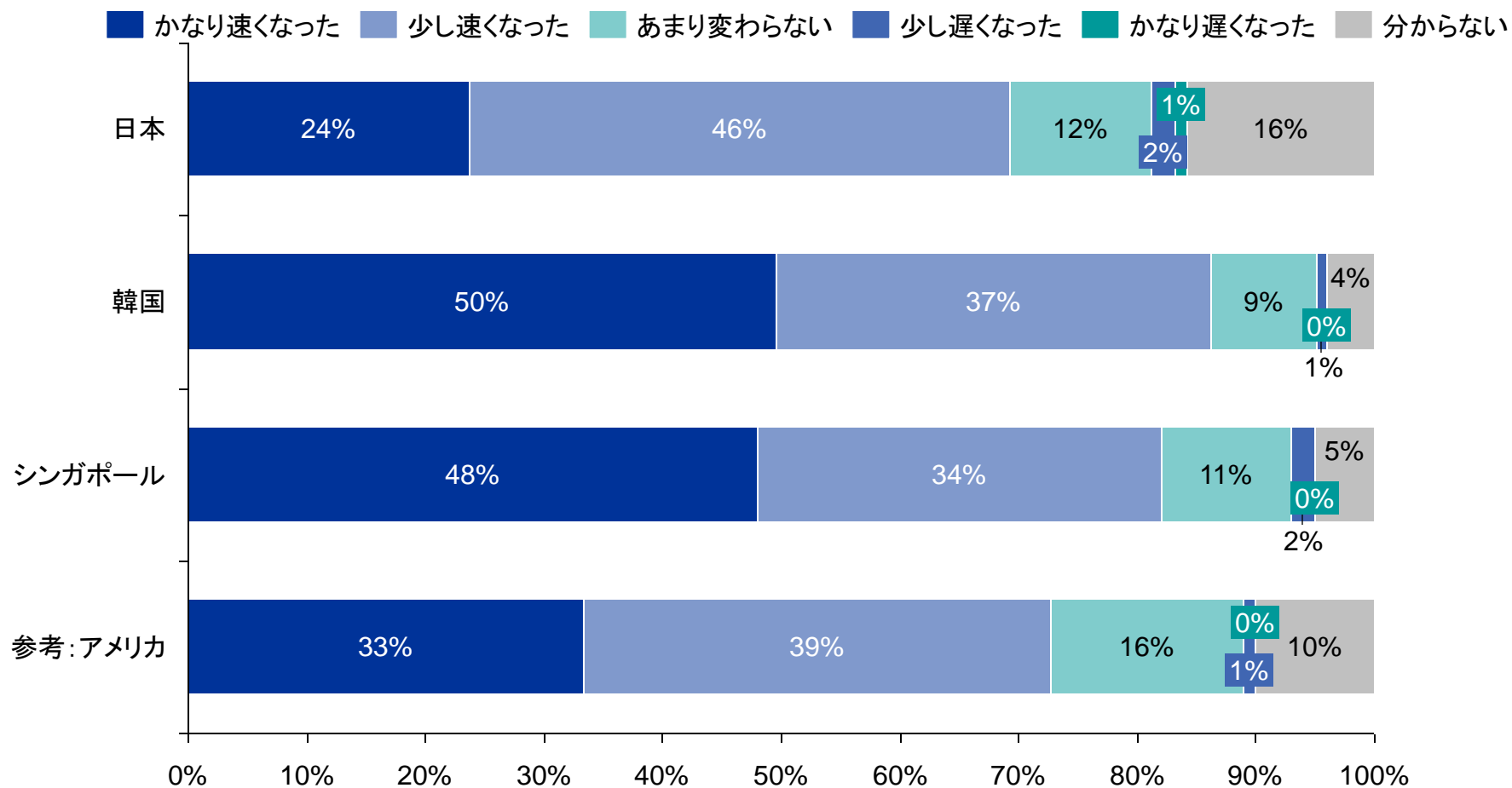


Wi-Fi使用理由



回線速度評価

以前利用していた端末と比較した際の回線速度評価

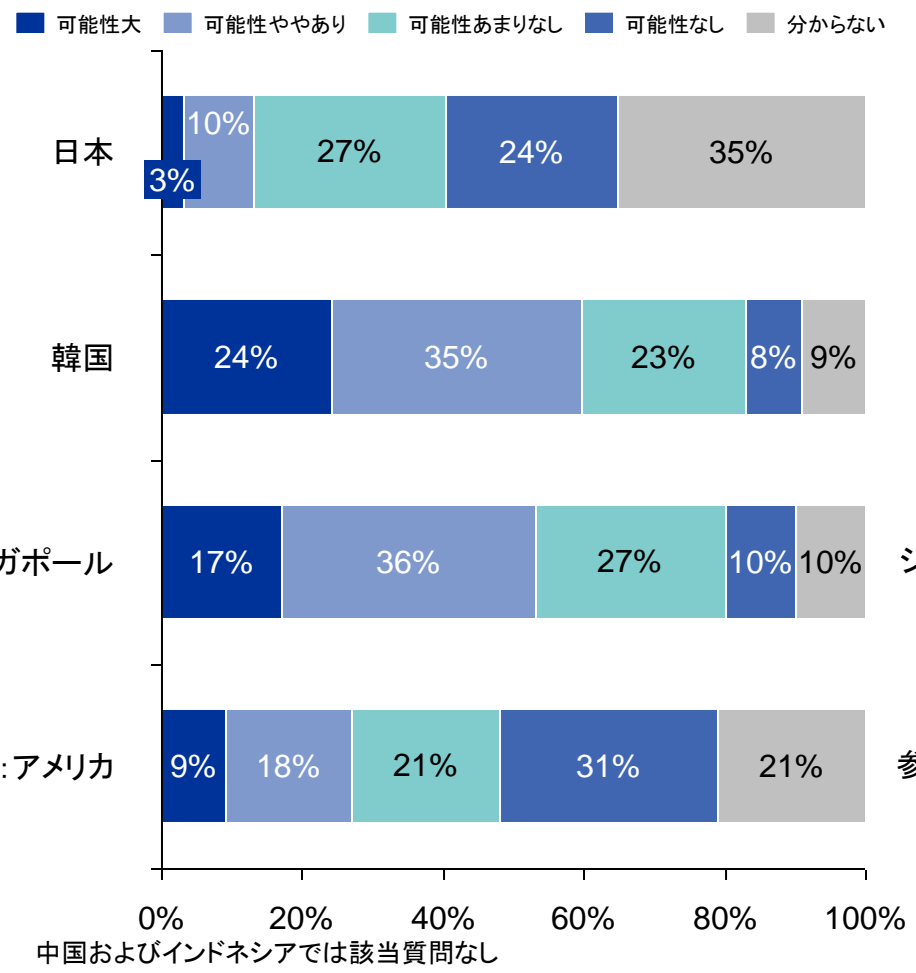


中国およびインドネシアでは該当質問なし

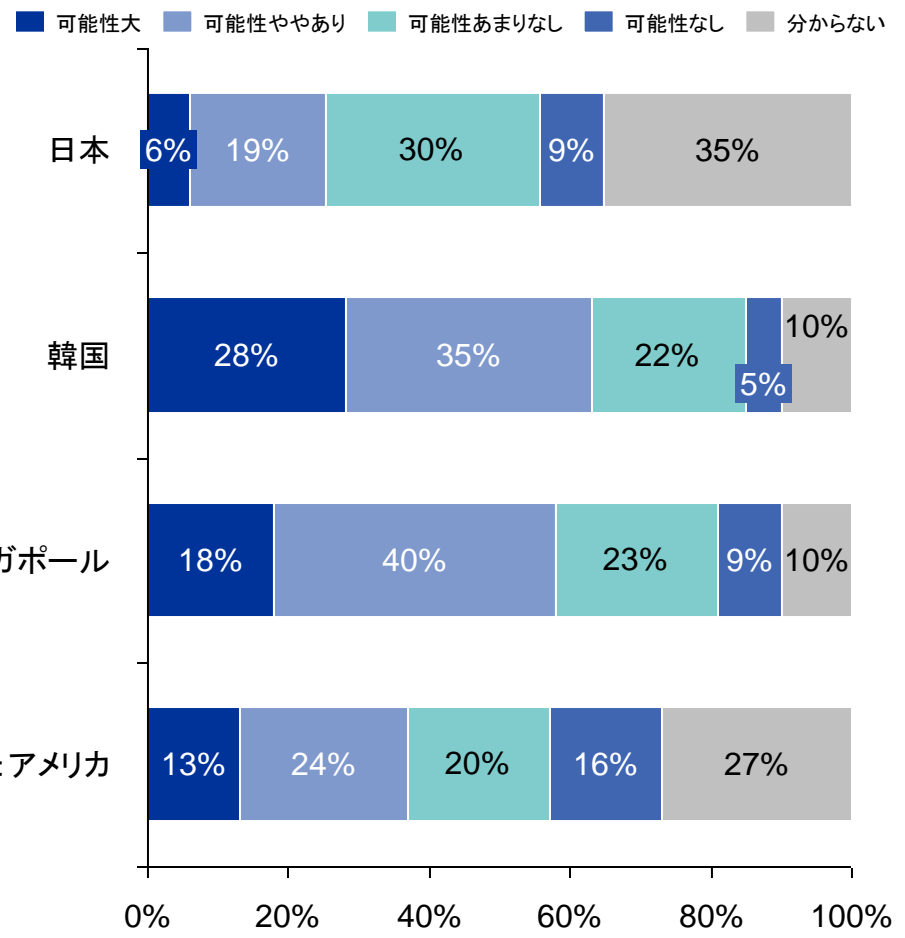
4G/LTE買い替え意向

4G/LTE対応端末への買い替え意向(12ヶ月以内)

全回答者



スマートフォンユーザ

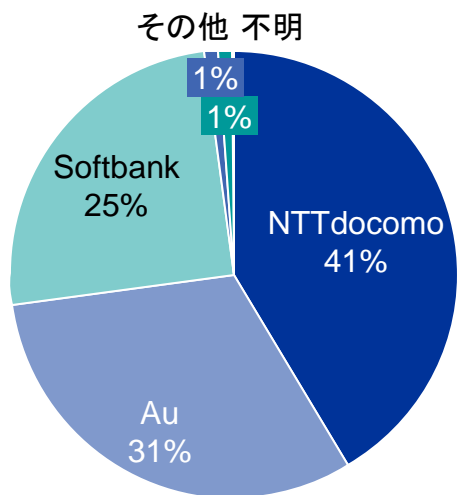


通信キャリアについて

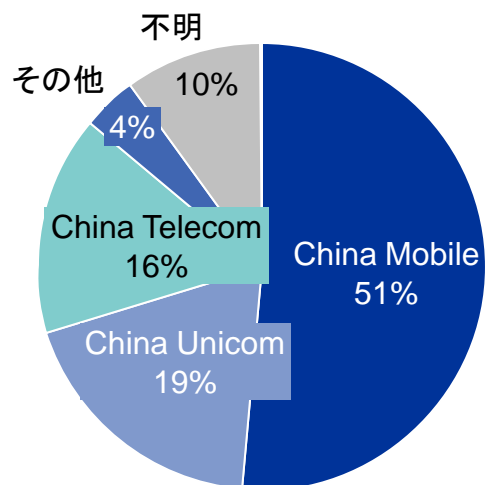
利用している通信キャリア

現在利用している通信キャリア

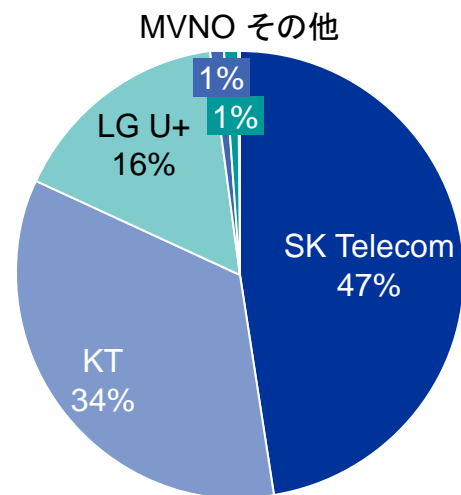
【日本】



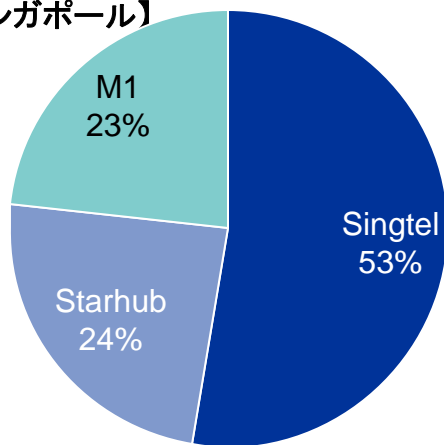
【中国】



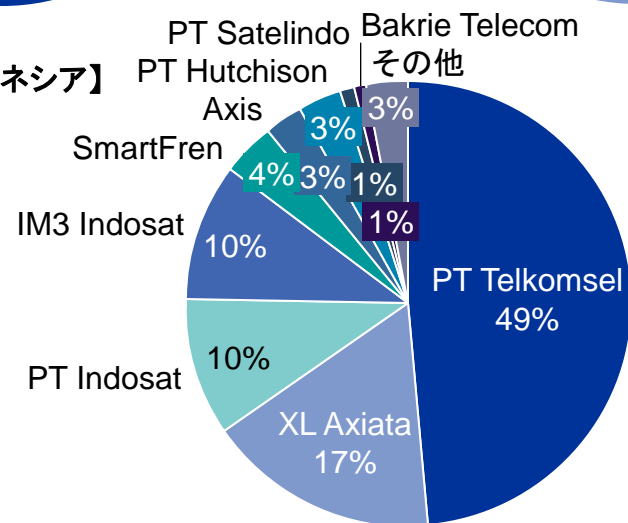
【韓国】



【シンガポール】

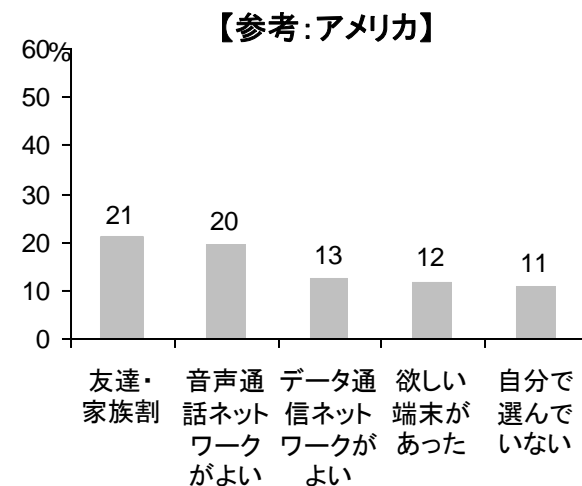
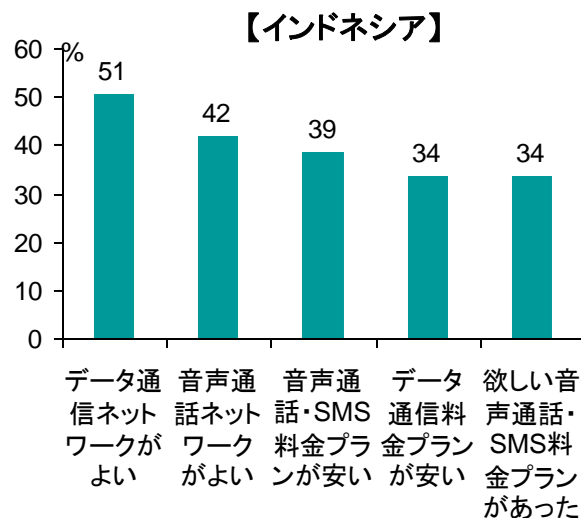
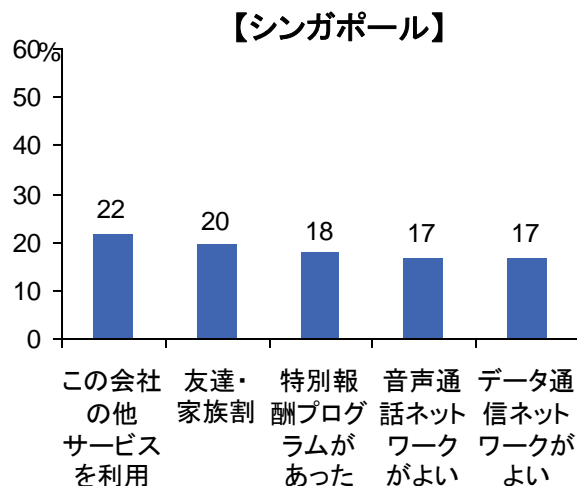
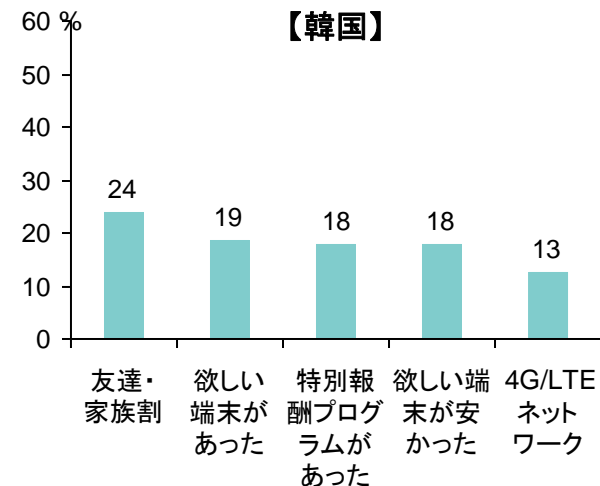
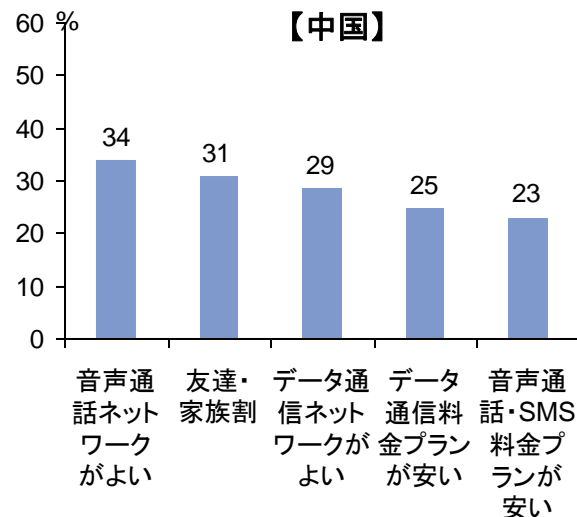
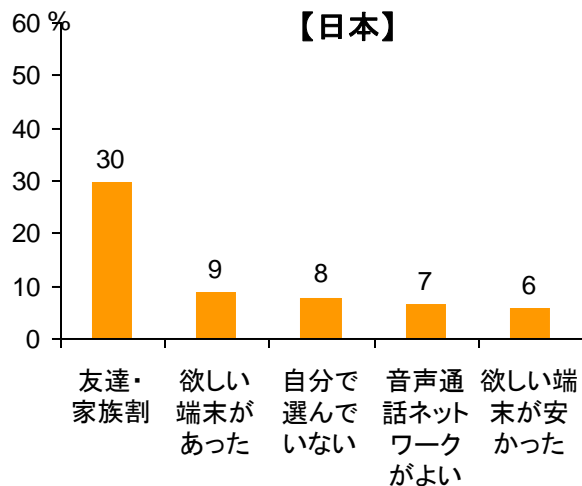


【インドネシア】



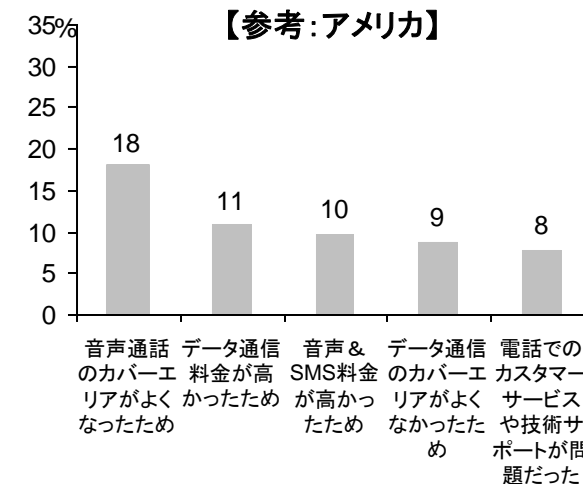
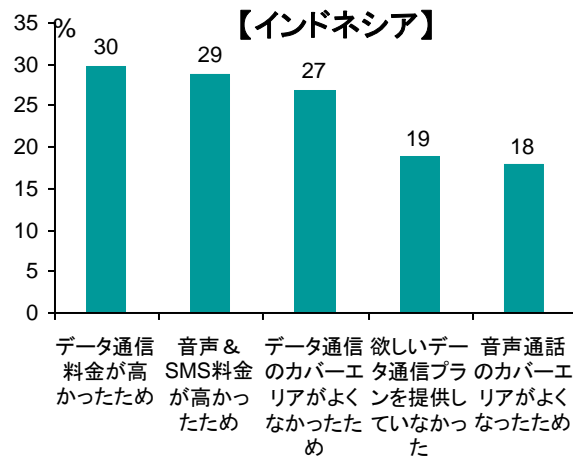
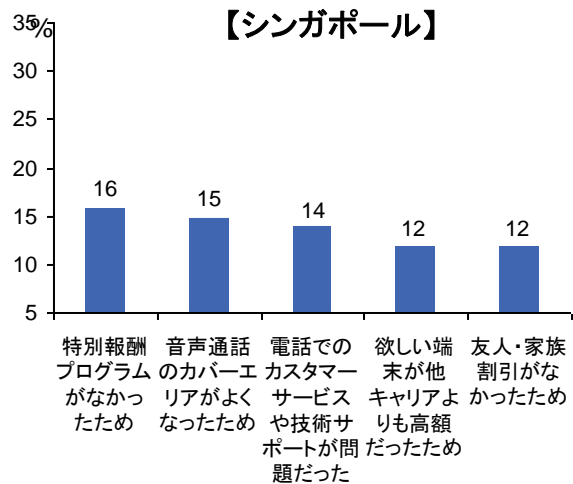
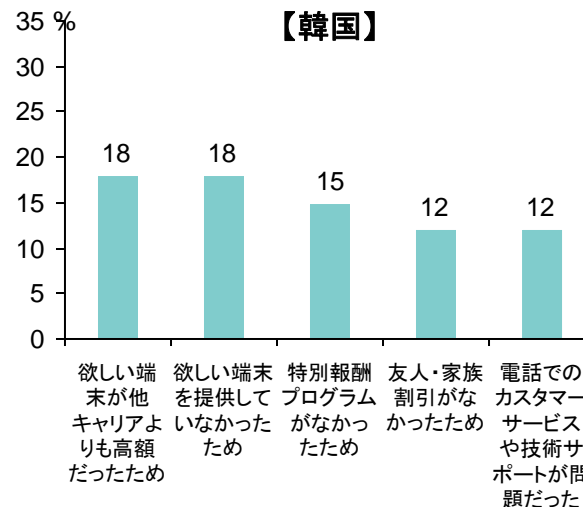
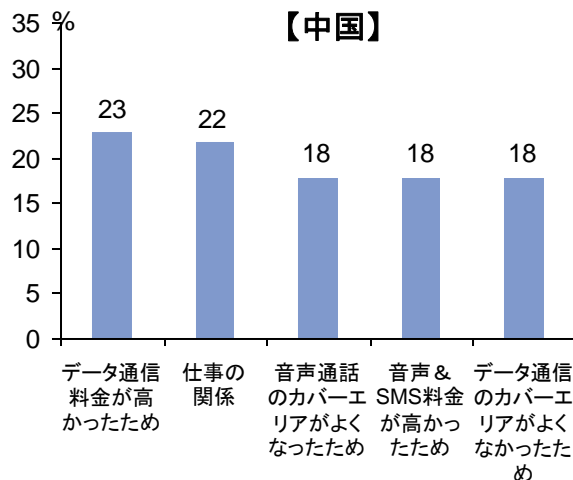
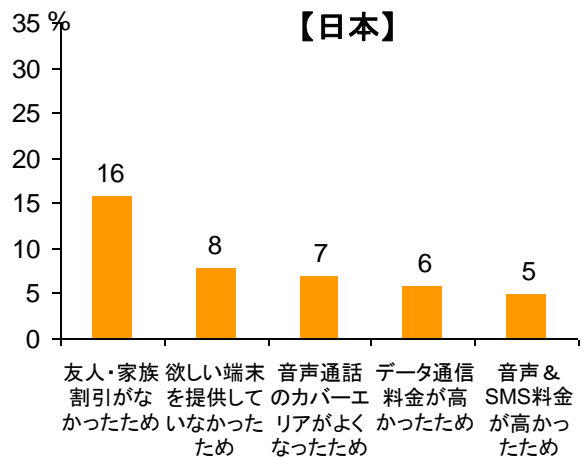
通信キャリア選定理由

現在利用中の通信キャリア選定理由(上位5位)



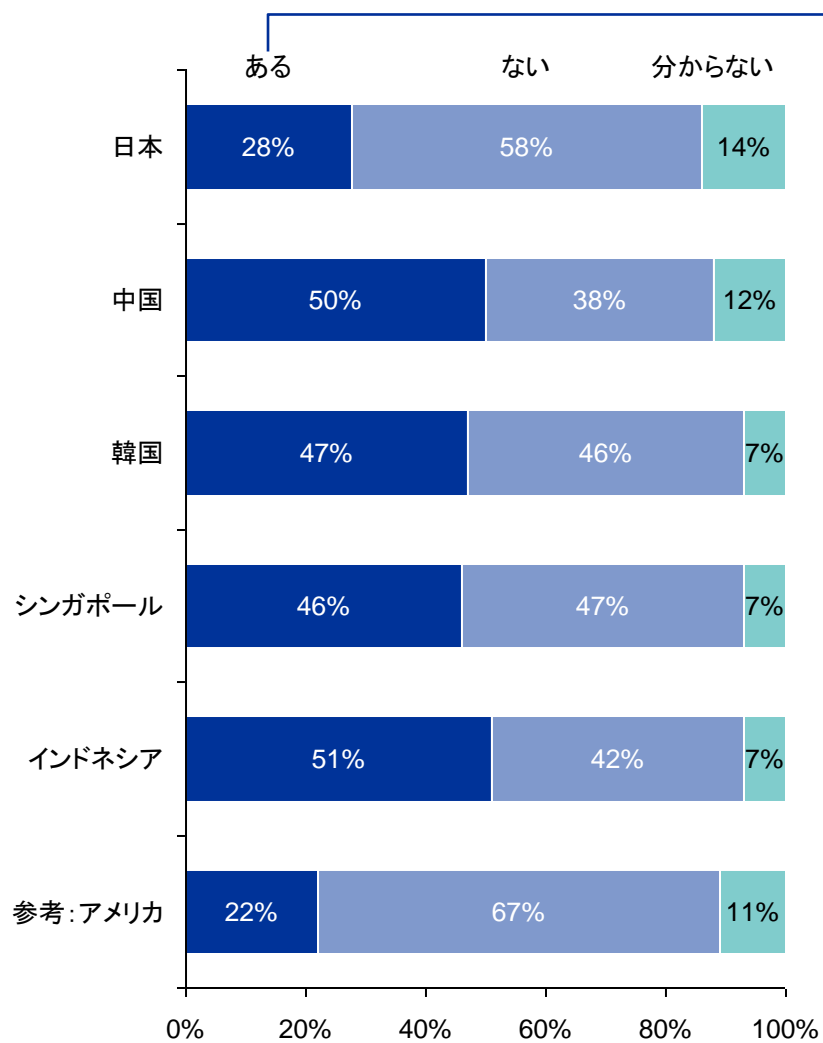
通信キャリア乗り換え理由(乗り換え経験者)

通信キャリアを乗り換えた理由(上位5位)

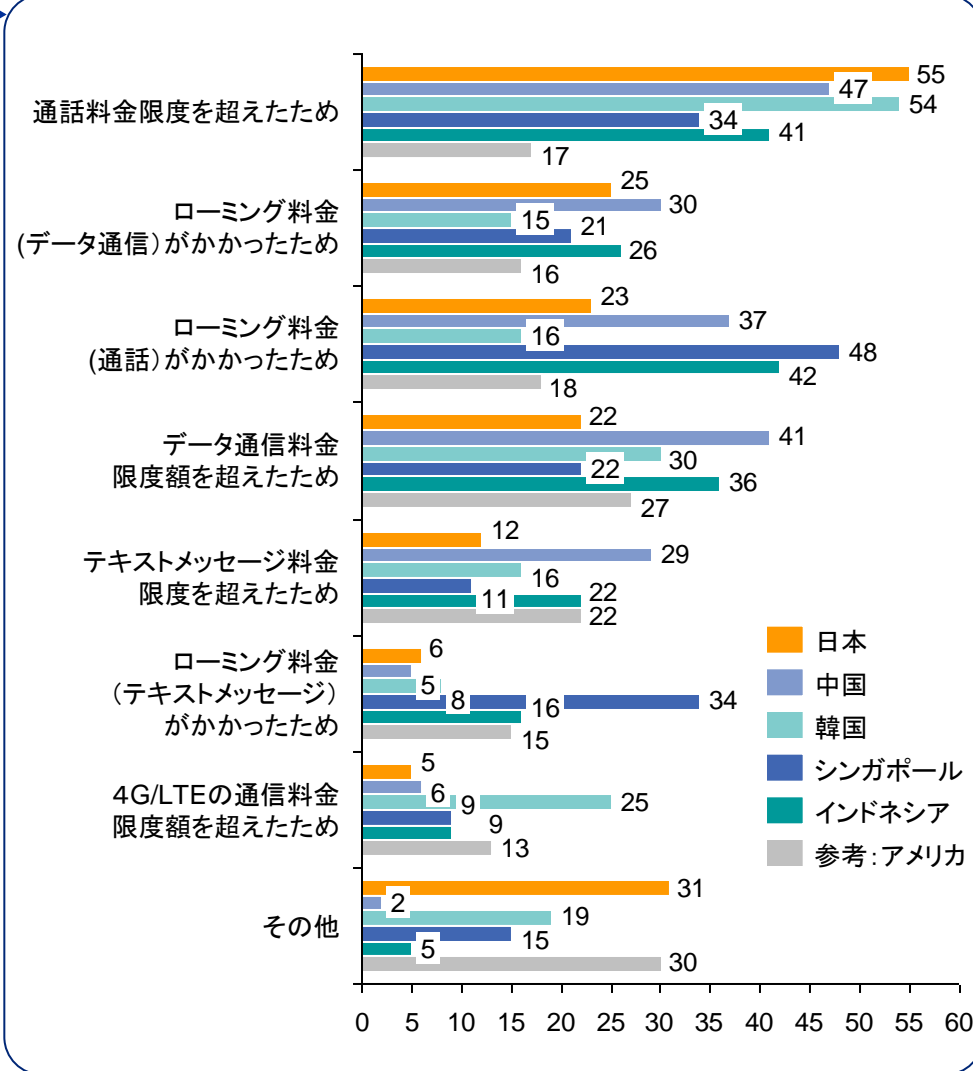


料金意識

予想よりも月支払い料金が良かった経験の有無

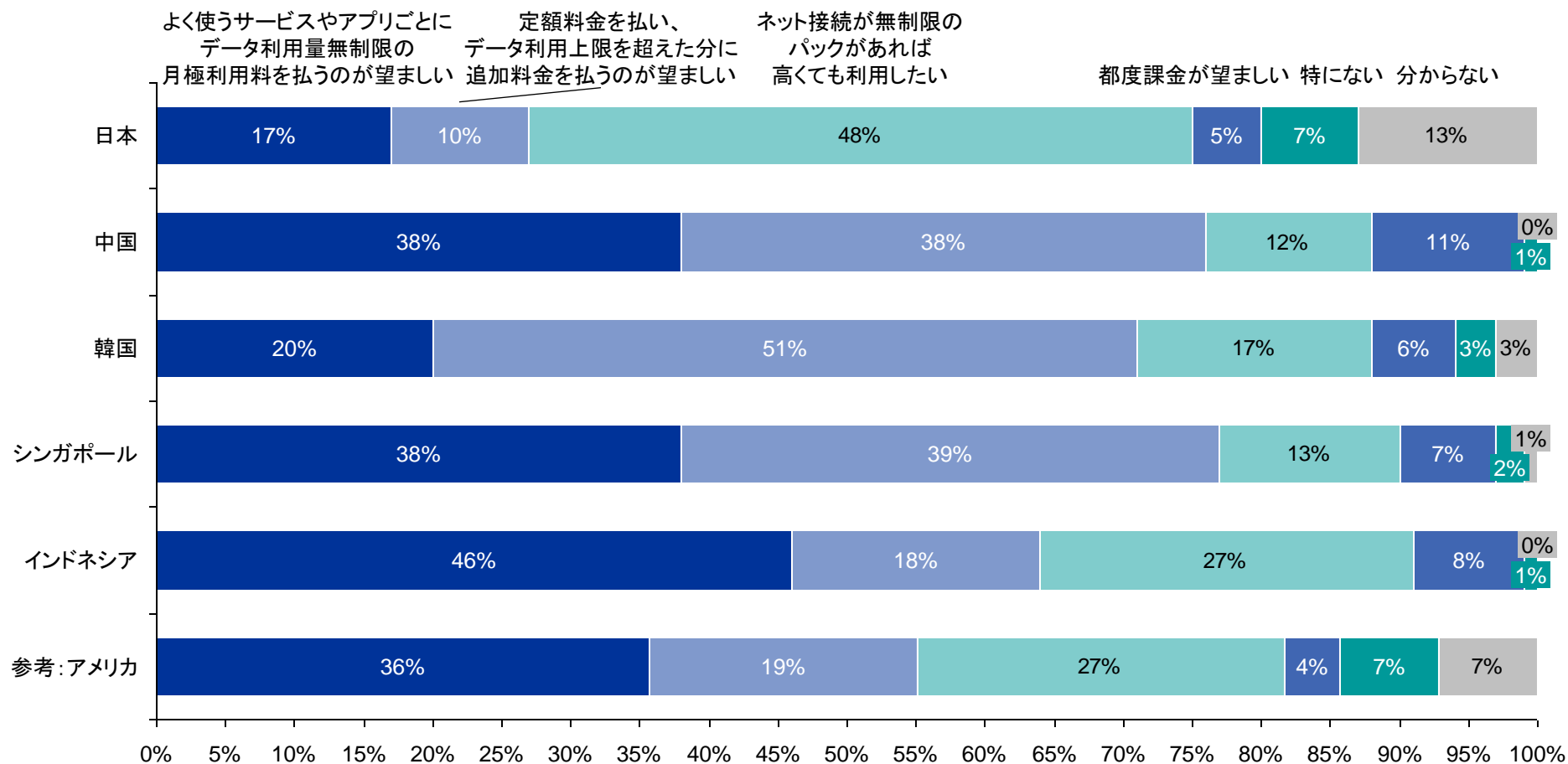


予想よりも高くなった理由



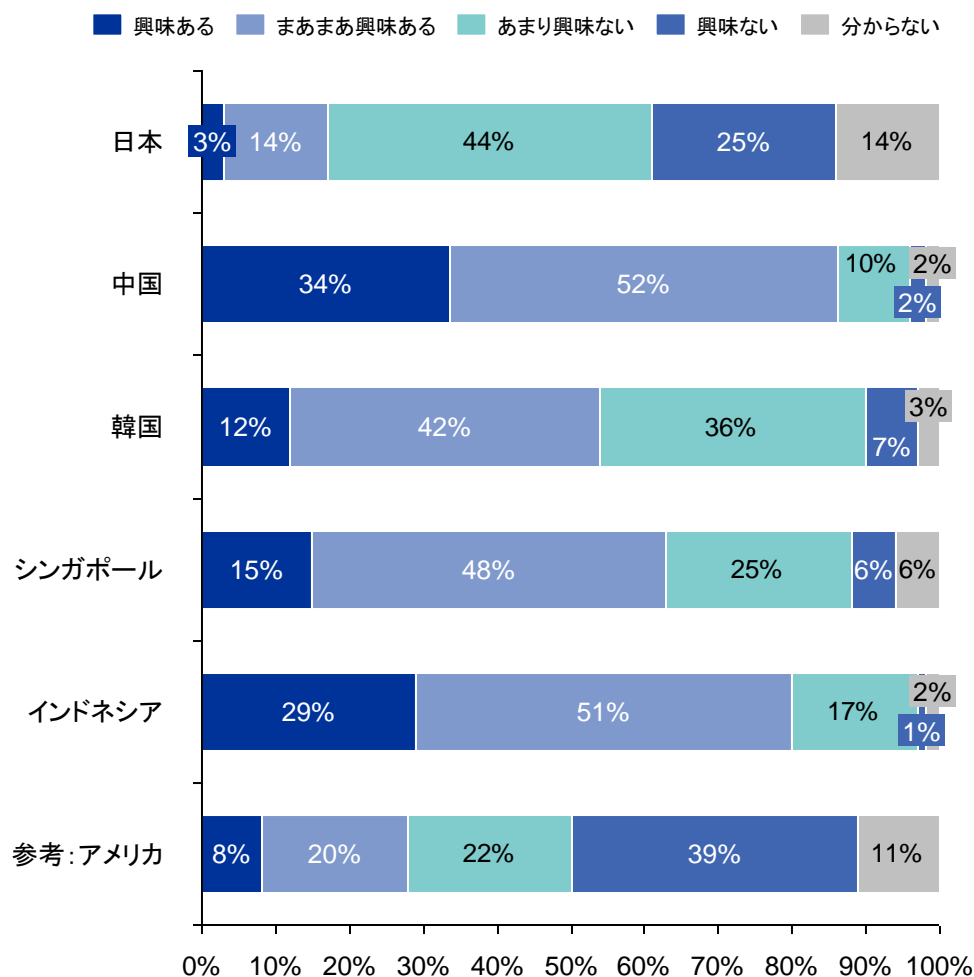
希望するデータ通信料金体系

希望するデータ通信料金体系

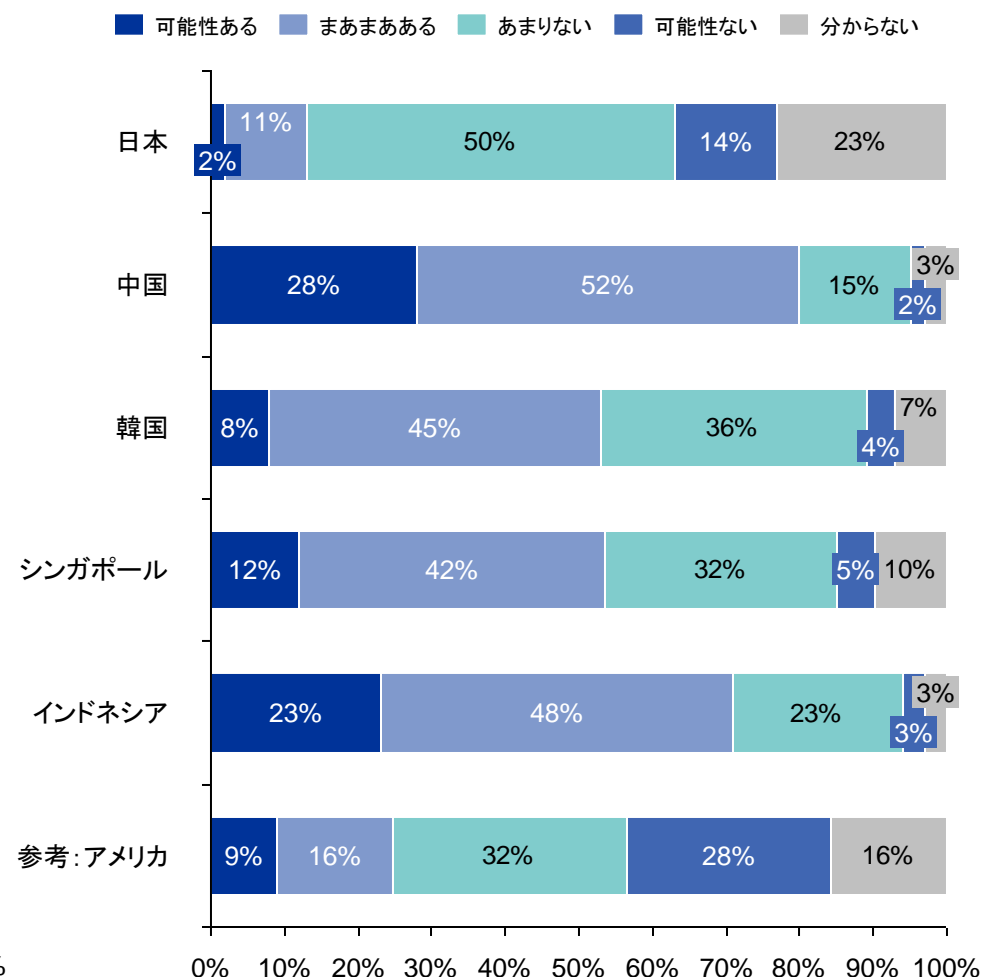


新接続サービス利用意向

最適なネットワークに自動的に接続してくれる
新サービスへの興味度



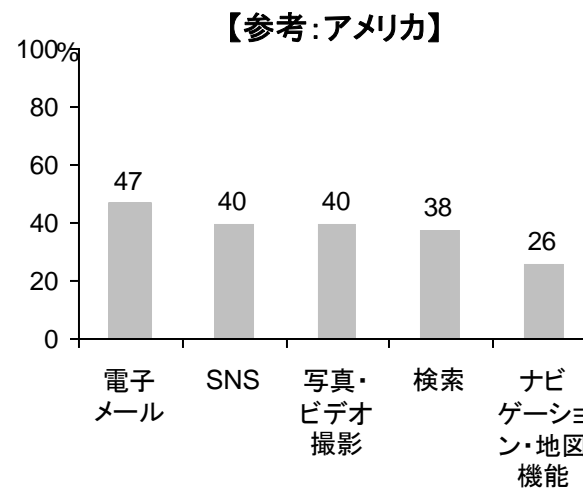
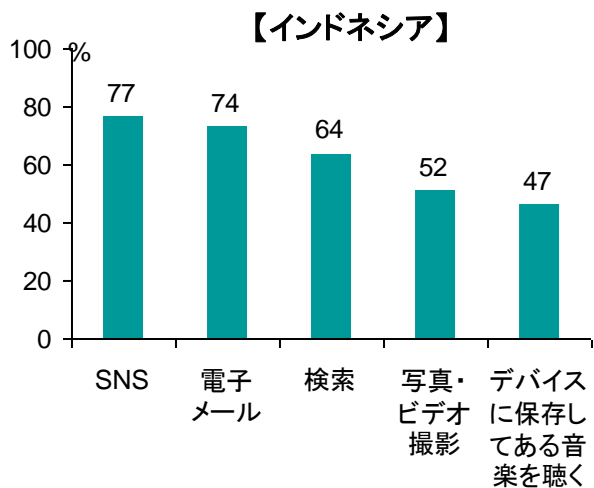
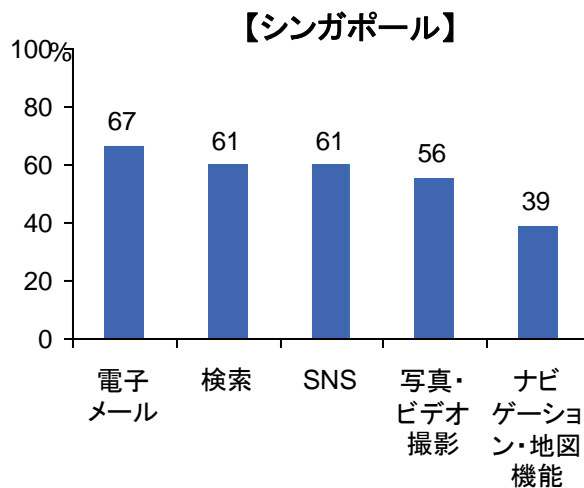
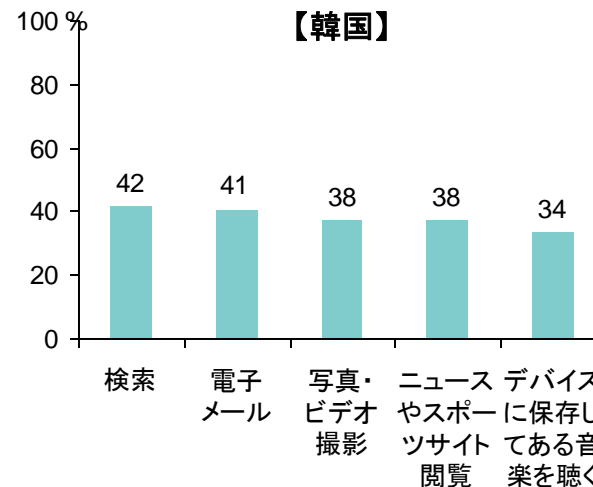
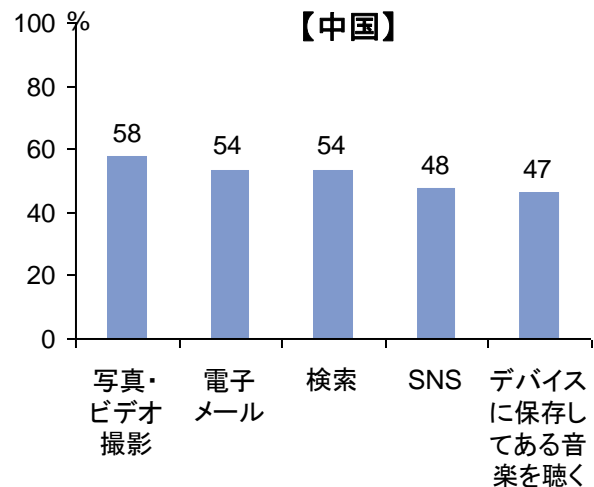
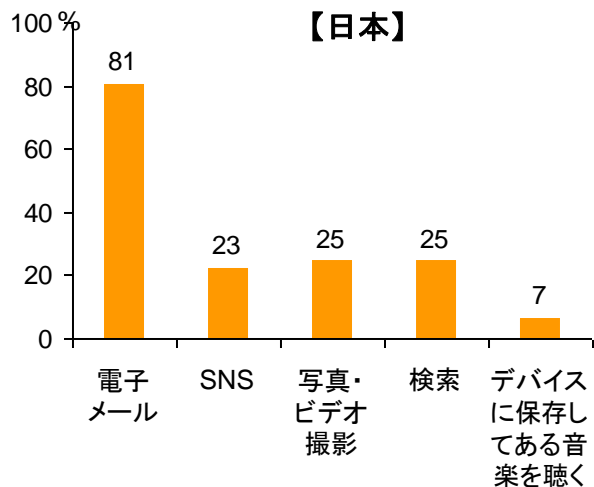
新接続サービスへの乗り換え意向



———— コンテンツ・アプリ・広告について ————

利用しているサービス・コンテンツ

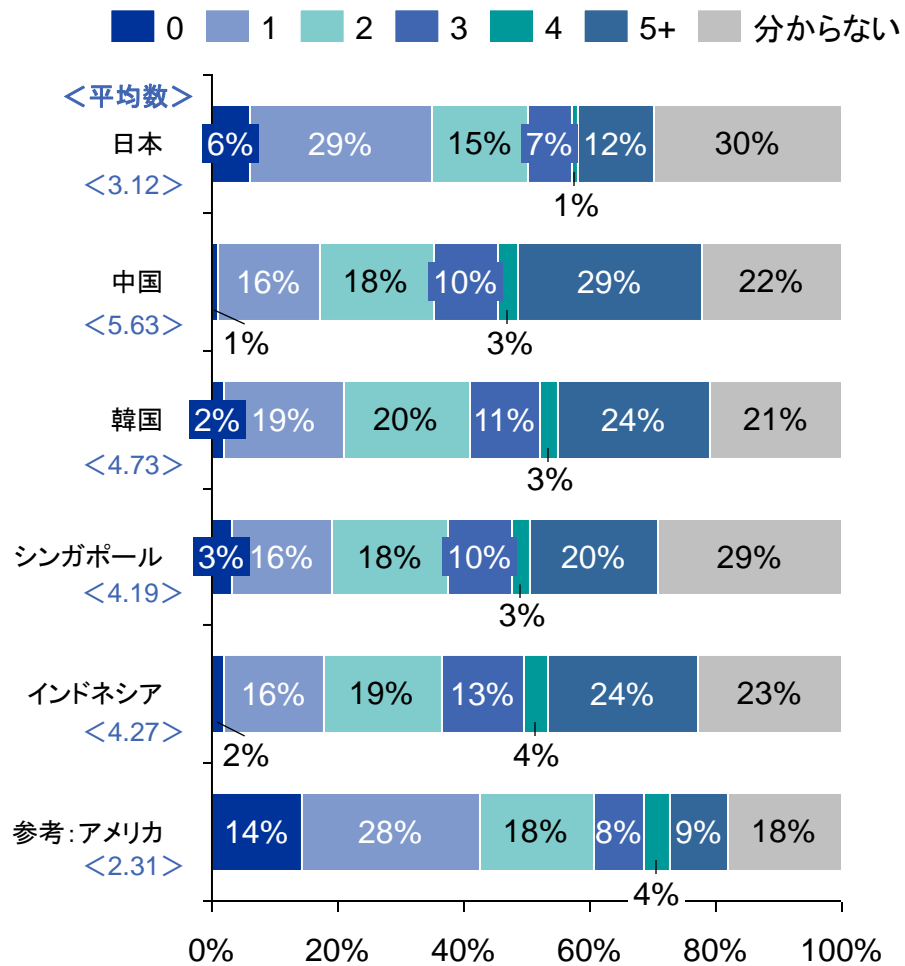
一週間あたり、利用しているサービス・コンテンツ(上位5位)



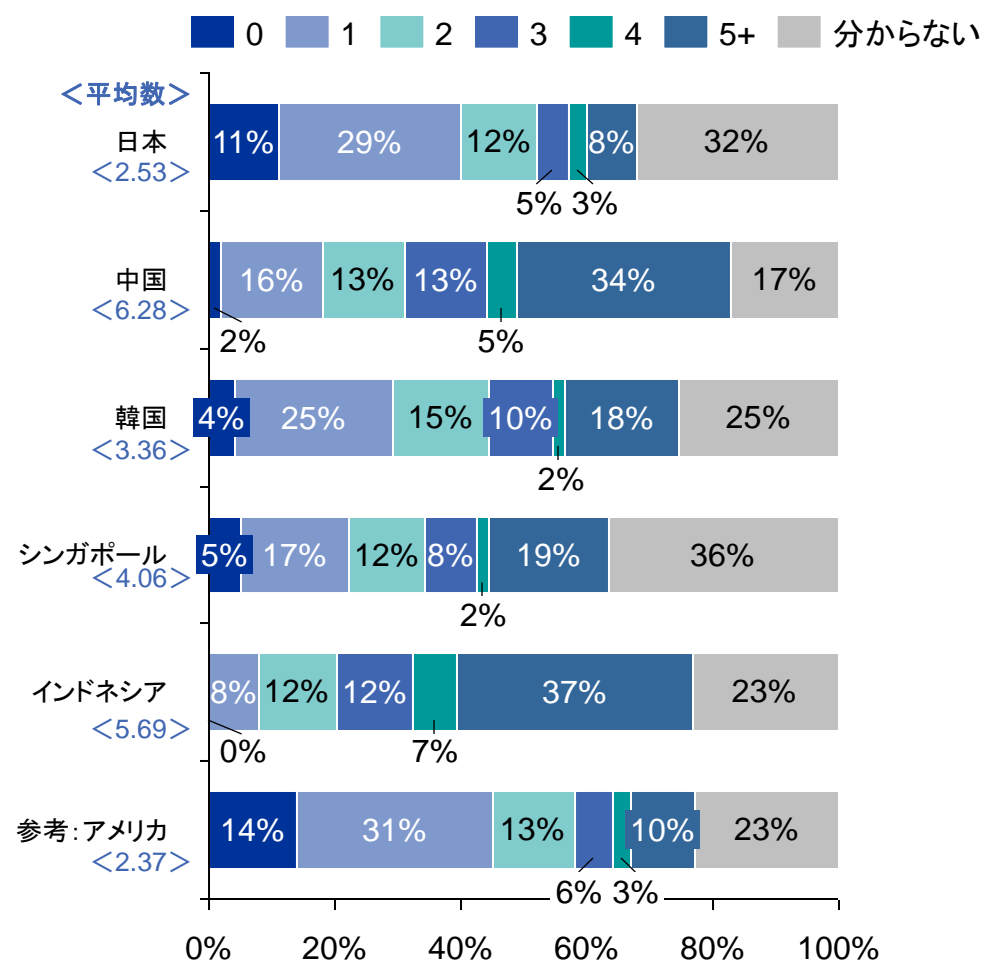
デバイス別平均アプリダウンロード数

1ヶ月あたりの平均アプリダウンロード数
(12ヶ月間内でのアプリダウンロード経験者)

【スマートフォン】



【タブレット】

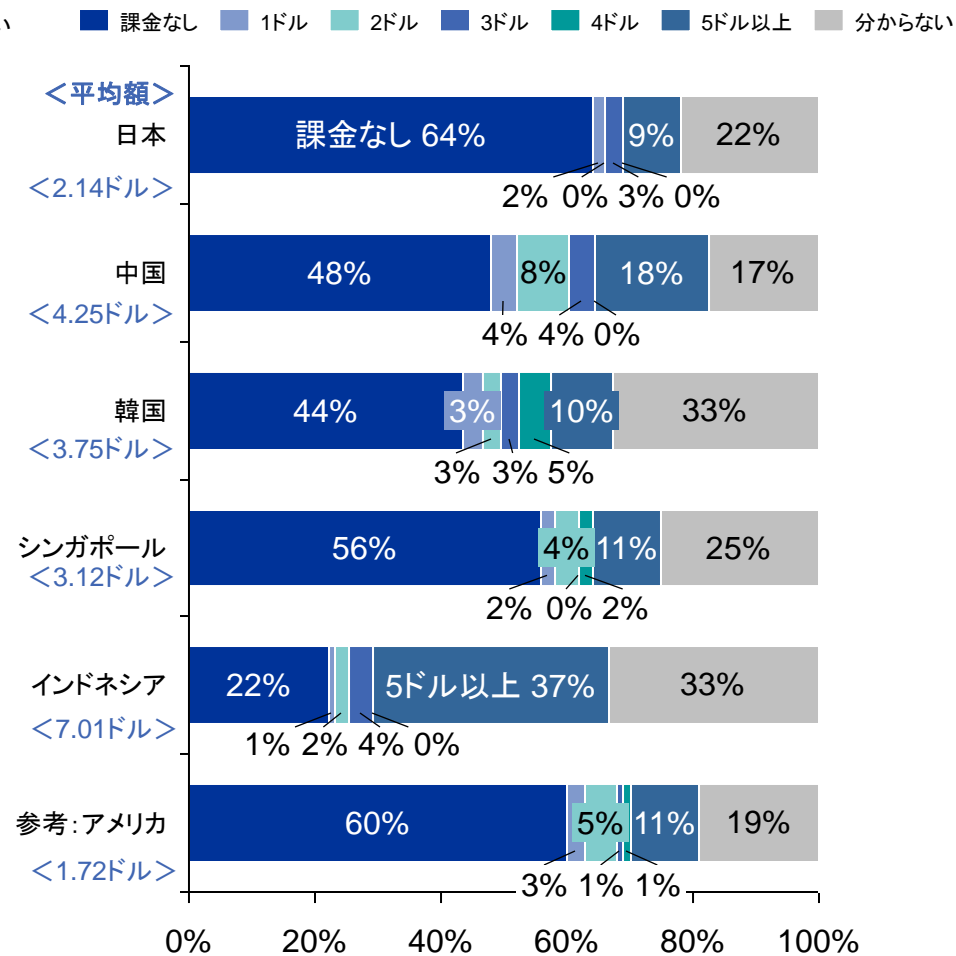
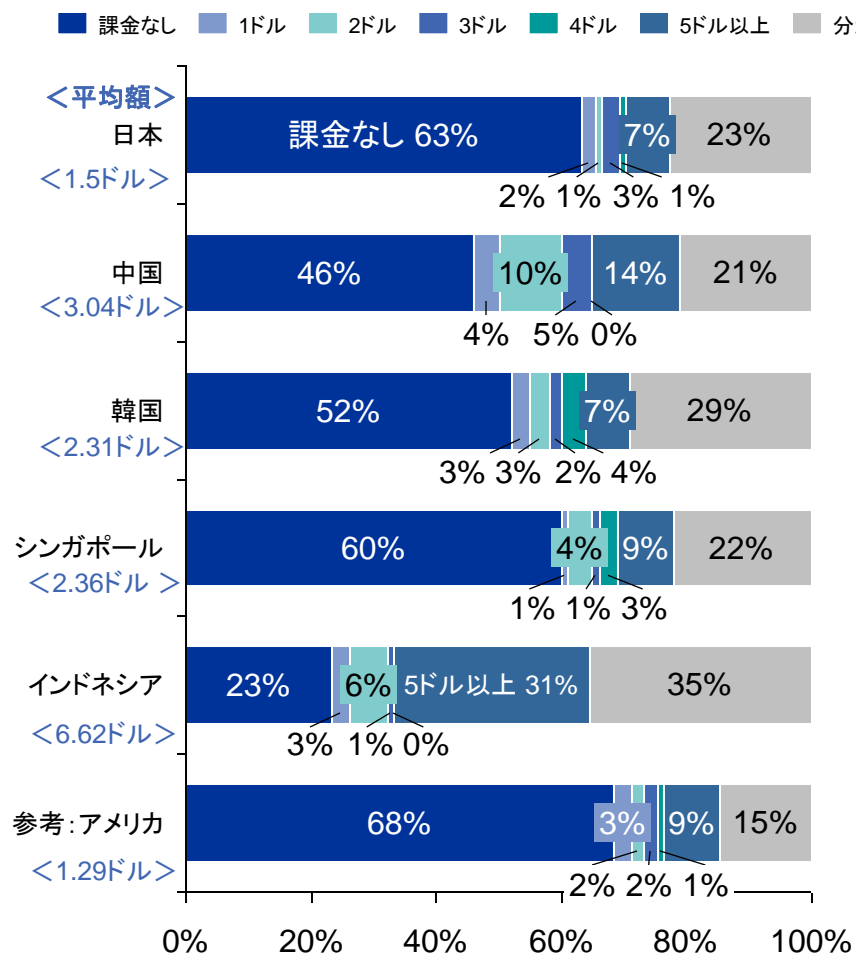


デバイス別平均アプリ課金額

1ヶ月あたりの平均課金額(ドル換算)
(12ヶ月間内でのアプリダウンロード経験者)

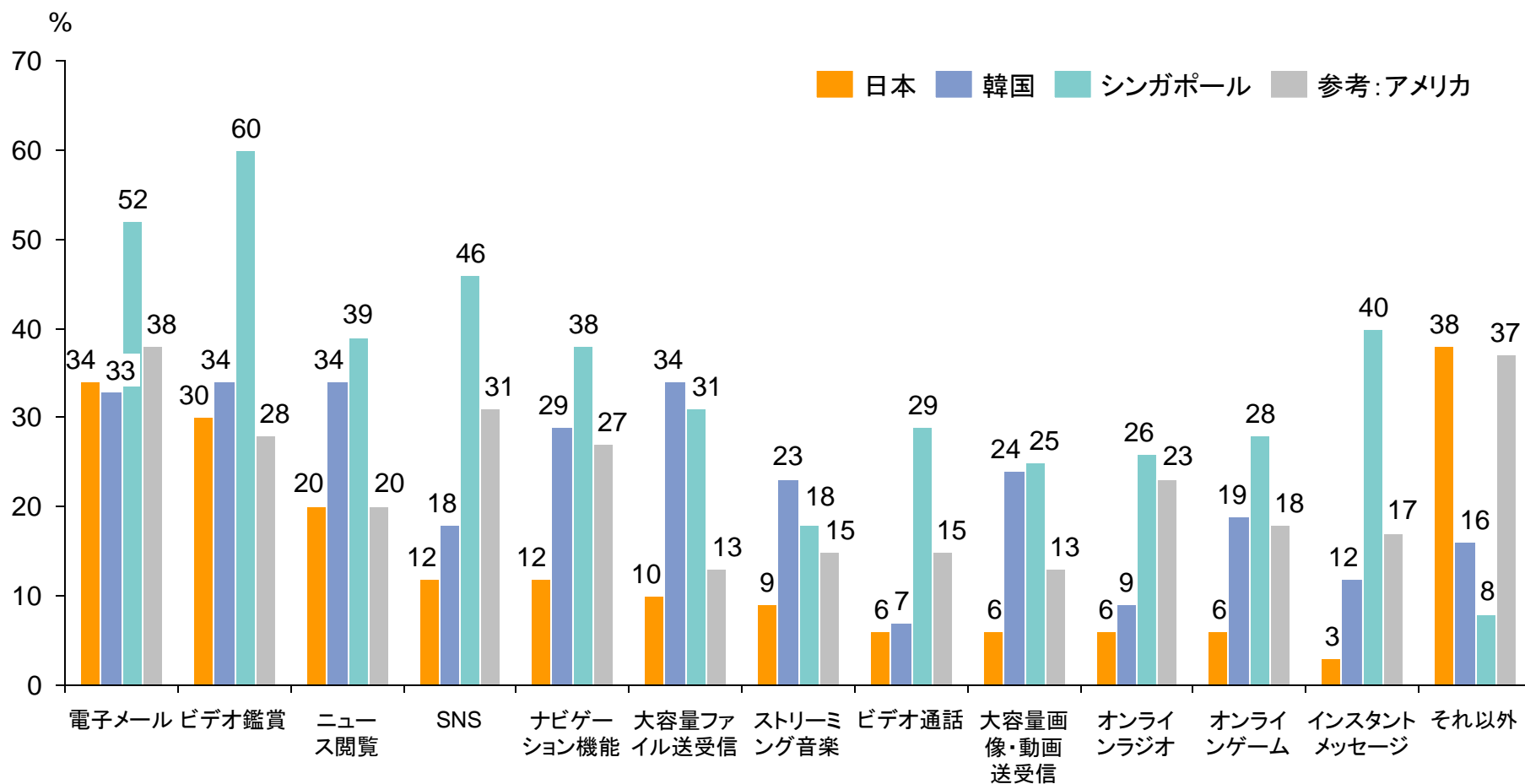
【スマートフォン】

【タブレット】



通信速度が速くなったら、使用してみたいサービス・コンテンツ

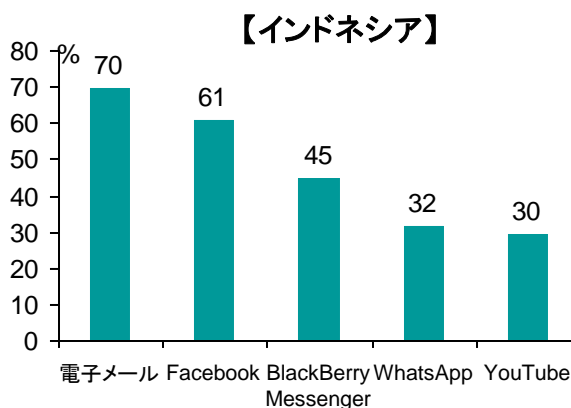
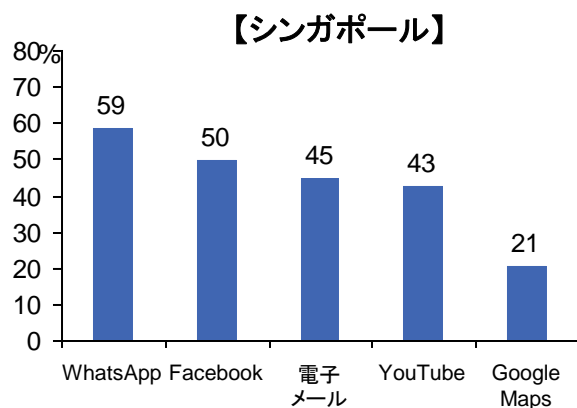
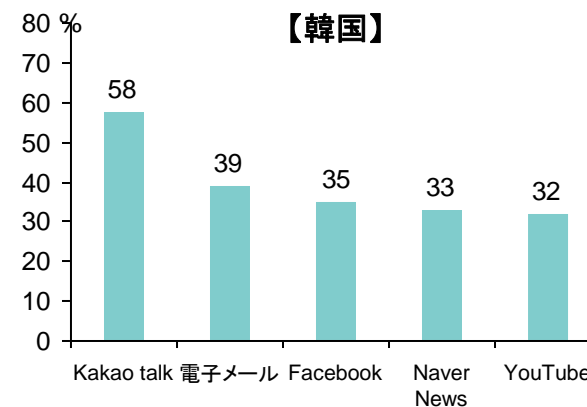
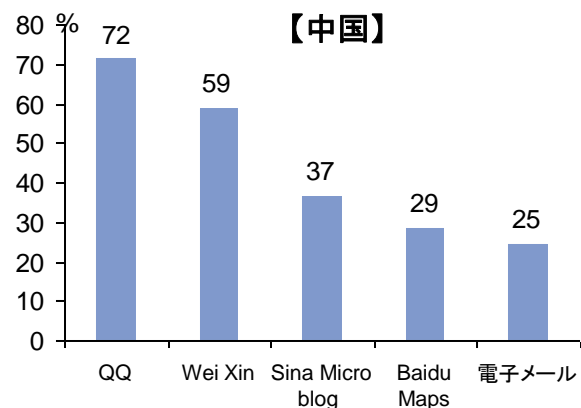
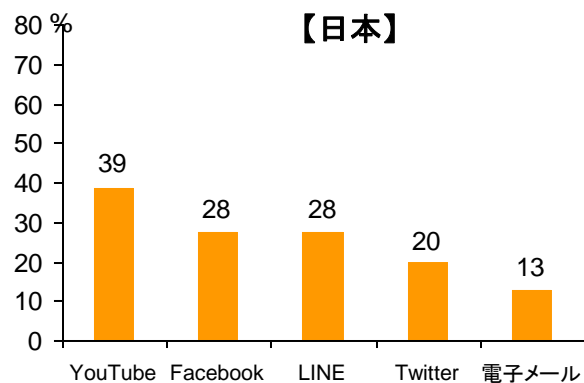
回線速度が3~5倍になったら利用したいサービス・コンテンツ



中国およびインドネシアでは該当質問なし

定額制だったら使用してみたいサービス・コンテンツ

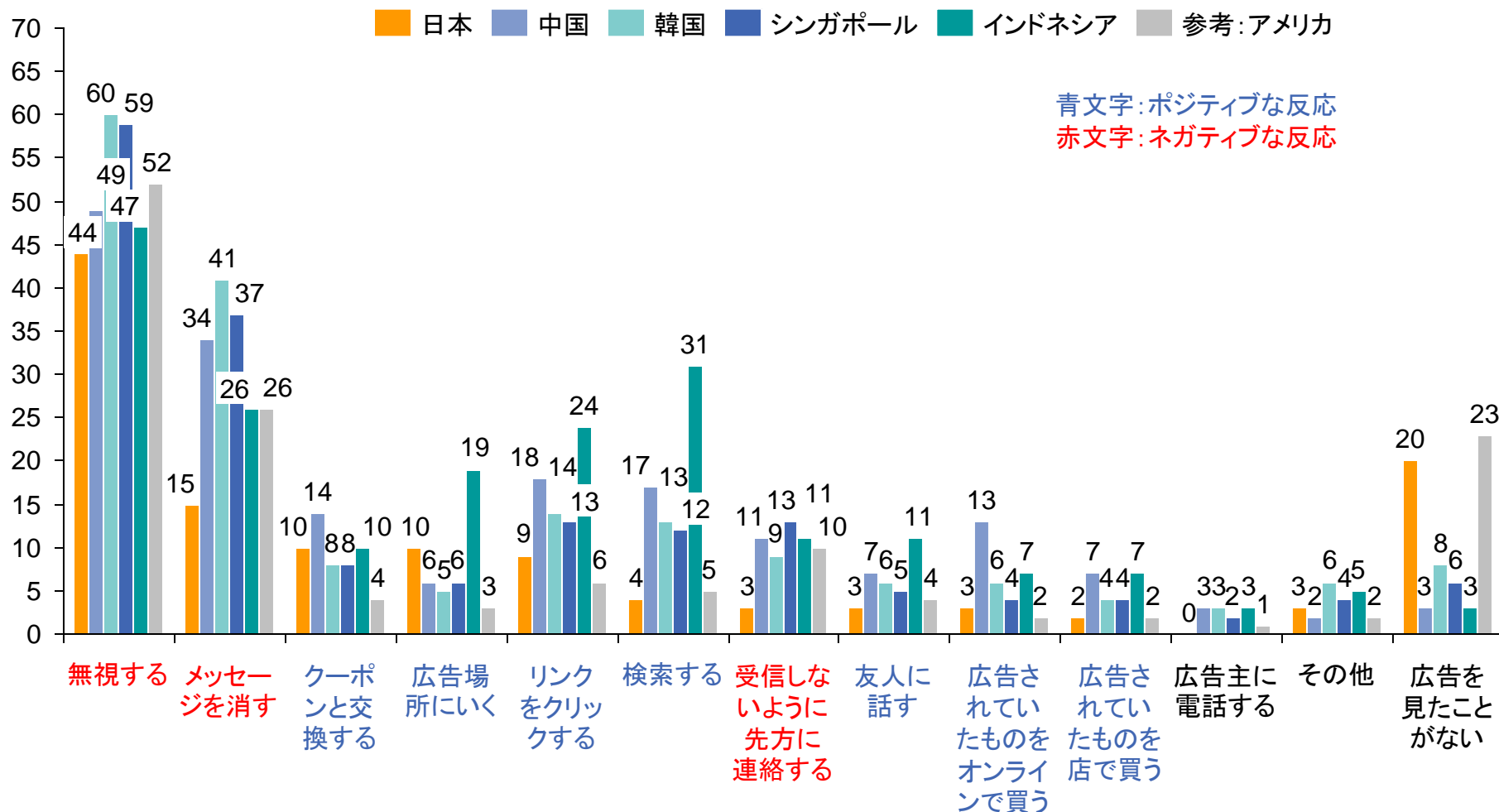
データ通信料が固定だった場合、使ってみたいサービス・コンテンツ(上位5位)



アメリカでは該当質問なし

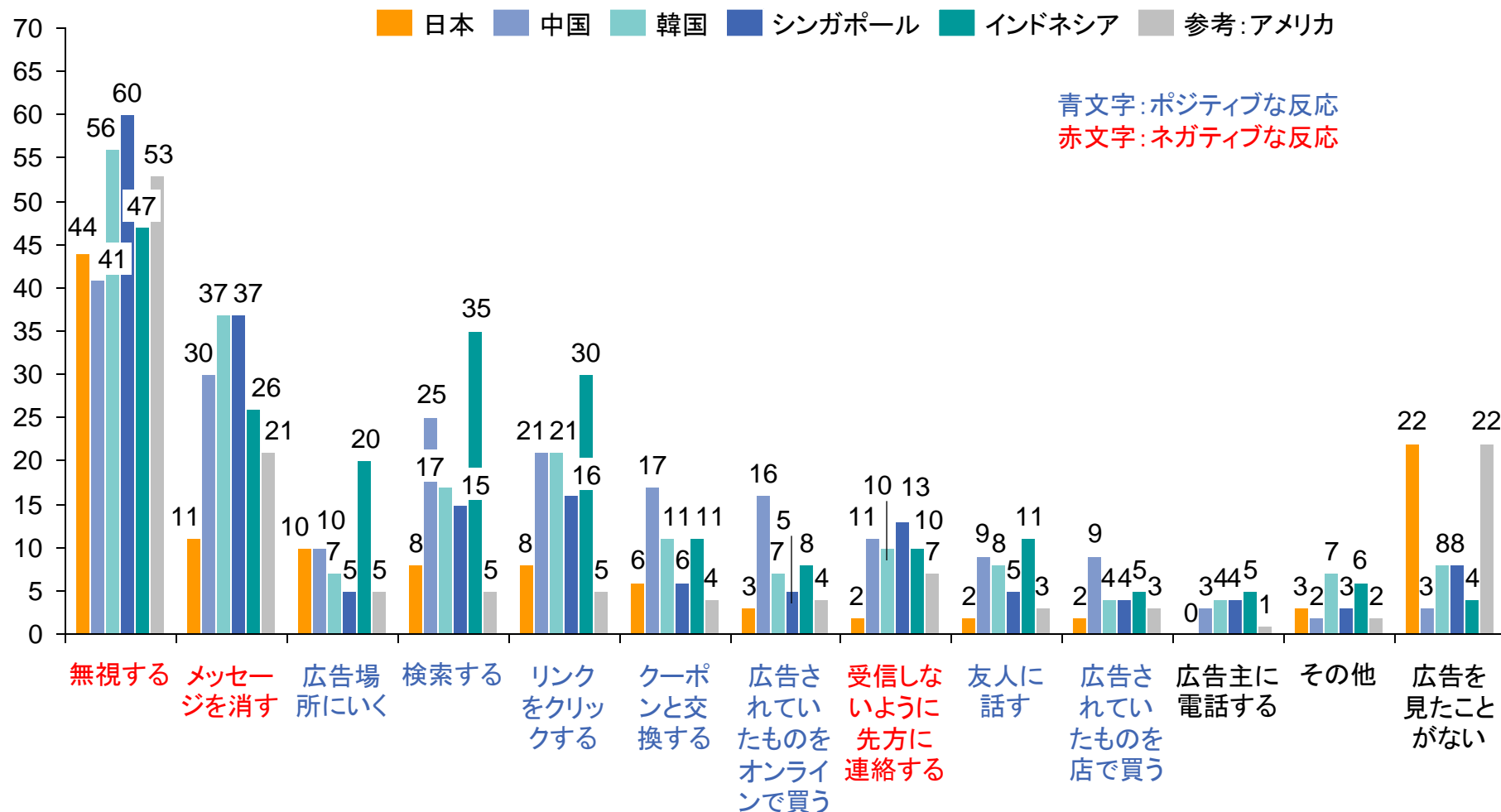
広告に対する寛容度

広告への反応(スマートフォンユーザ)



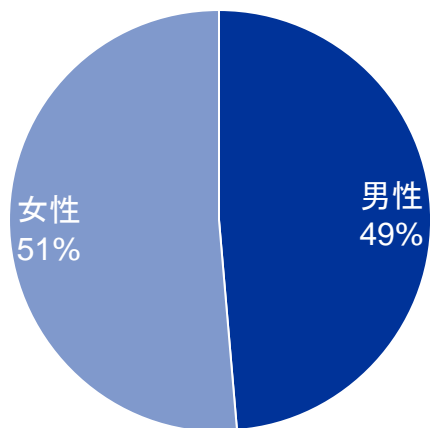
広告に対する寛容度

広告への反応(タブレットユーザ)

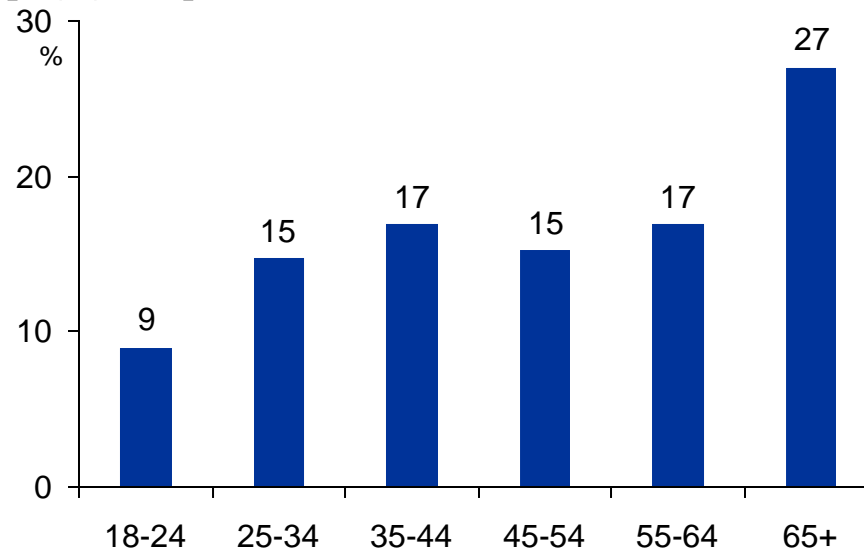


回答者属性(日本)

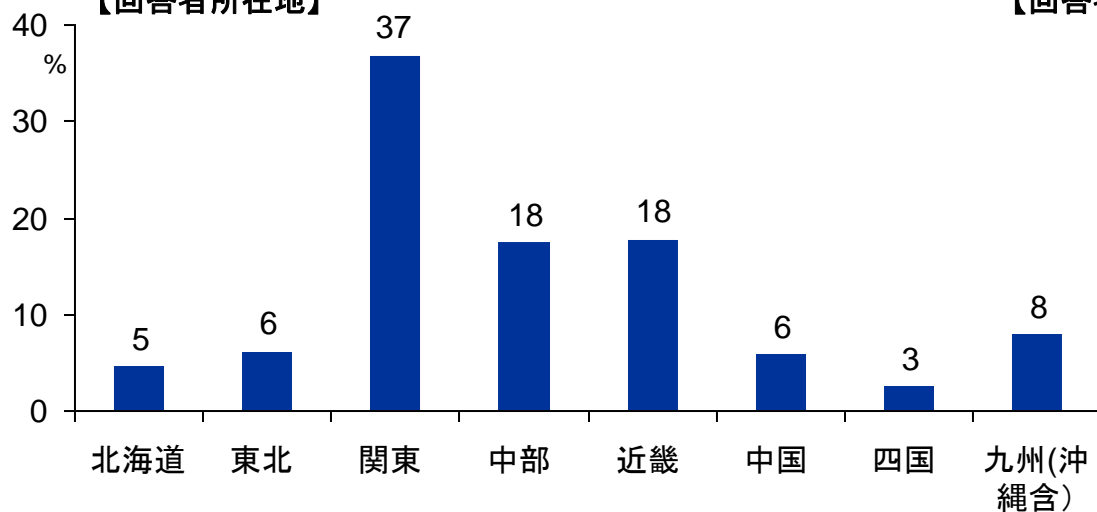
【回答者性別】



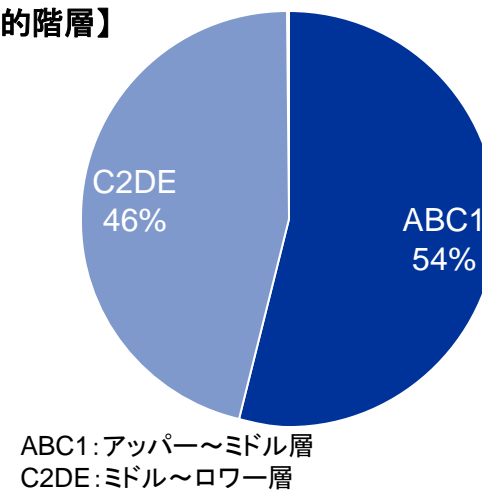
【回答者年代】



【回答者所在地】



【回答者社会的階層】



アンケート項目一覧

- 性別・年代・職業
- 新製品に対する指向性
- 保有しているモバイルデバイス
- 保有しているモバイルデバイスブランド、OS
- 以前保有していたモバイルデバイスブランド
- モバイルデバイスの複数台保有による利用変化
- モバイルデバイス選定ポイント
- モバイルデバイスで利用しているサービス・機能
- 今後のモバイルデバイス購入意向
- インターネットにアクセスしているモバイルデバイス
- インターネット接続方法
- Wi-Fi利用状況
- Wi-Fi利用理由
- Wi-Fi利用場所
- 4G/LTE利用状況
- 4G/LTE速度評価
- 4G/LTE買い替え意向
- 無制限アクセス(定額制)で利用したいサービス・コンテンツ
- 高速回線で利用してみたいサービス・コンテンツ
- 現在利用している通信キャリア
- 以前利用していた通信キャリア
- 通信キャリア選定理由
- 通信キャリア乗り換え理由
- 契約料金形態
- 毎月のインターネット利用上限
- 毎月の支払額・料金意識
- 支払額が増加する理由
- 希望するデータ通信料金体系
- 複数ネットワーク接続新サービスの利用意向・乗り換え意向
- 利用しているコミュニケーション方法
- 利用しているサービス・コンテンツ
- モバイルアプリDL数
- モバイルアプリ課金額
- 購入したモバイルアプリ種類・内容
- モバイルアプリ非利用理由
- モバイル広告に対する反応・行動

詳細データご希望の方は下記までお問合せください
jp_tmt_contact@tohmatu.co.jp

Deloitte. トーマツ.

デロイトトーマツ コンサルティング (DTC)は国際的なビジネスプロフェッショナルのネットワークであるDeloitte(デロイト)のメンバーで、有限責任監査法人トーマツのグループ会社です。DTCはデロイトの一員として日本におけるコンサルティングサービスを担い、デロイトおよびトーマツグループで有する監査・税務・コンサルティング・ファイナンシャル アドバイザリーの総合力と国際力を活かし、日本国内のみならず海外においても、企業経営におけるあらゆる組織・機能に対応したサービスとあらゆる業界に対応したサービスで、戦略立案からその導入・実現に至るまでを一貫して支援する、マネジメントコンサルティングファームです。1,400名規模のコンサルタントが、国内では東京・名古屋・大阪・福岡を拠点に活動し、海外ではデロイトの各国現地事務所と連携して、世界中のリージョン、エリアに最適なサービスを提供できる体制を有しています。

Deloitte(デロイト)は監査、税務、コンサルティングおよびファイナンシャル アドバイザリーサービスをさまざまな業種にわたる上場・非上場クライアントに提供しています。全世界150カ国を超えるメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを提供しています。デロイトの約200,000名におよぶ人材は、“standard of excellence”となることを目指しています。

Deloitte(デロイト)とは、デロイト トウシュートーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)およびそのネットワーク組織を構成するメンバーファームのひとつあるいは複数指します。デロイト トウシュートーマツ リミテッドおよび各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。その法的な構成についての詳細はwww.tohmatsum.com/deloitte/をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、その性質上、特定の個人や事業体に具体的に適用される個別の事情に対応するものではありません。また、本資料の作成または発行後に、関連する制度その他の適用の前提となる状況について、変動を生じる可能性もあります。個別の事案に適用するためには、当該時点で有効とされる内容により結論等を異にする可能性があることをご留意いただき、本資料の記載のみに依拠して意思決定・行動をされることなく、適用に関する具体的事案をもとに適切な専門家にご相談ください。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited